

・景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・底堅い動きで推移しているが、今月の売上が上昇気運にあるので、このままある程度上昇していくのではないかとと思われる。
		旅行代理店（従業員） その他レジャー施設（職員）	・SARSの影響も少しは好転すると思われる。 ・開催イベントが多く、多くの集客が見込まれる。それに伴い来客数・販売量も増えると考えられる。
		美容室（経営者）	・良いものであれば、オプションの料金を負担する傾向が消費者に出てきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・バーゲン時期ということで、売上アップが見込まれる所であるが、今年の夏物の内容を見ても、バーゲンだからといって盛り上がるとは思えない。
		一般小売店〔土産〕（店員）	・SARSの影響も今後どういう流れになるのか、まだまだ景気の状態は判断しかねる所だが、国内で発症した場合はかなり影響があると思うが、そういうことがないといいと思う。
		百貨店（売場主任）	・失業率の悪化や企業倒産、金融不安など、景気の悪化がまだ感じられるため、客の買い控えも多くなると思う。
		百貨店（販売促進担当）	・全体の消費量が変わらないなかで、競合店の新規出店により、既存店の苦戦は継続しそうである。また、今夏のボーナス状況も厳しく、目減りした全体のパイの食い合いになりそうである。
		スーパー（企画担当）	・株式市況の低迷や高失業率にみられる先行きの不透明感はずっと強まっており、客の今後の購買行動にも大きな好転は見られないものと思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・海外旅行の減少で、北海道旅行が増える可能性はあるが、公共工事の減少で、差し引き同じになる。
		衣料品専門店（店長）	・今後、新しい商品が出れば少しは良くなるかもしれないが、安い商品も売れなくなっている状況から、今後もあまり変わらないと思われる。
		衣料品専門店（店員）	・夏のボーナスも期待していない人が多く、ボーナスが出て、衣類に使う余裕がある人がそれほど多いとは見込めない状況である。
		家電量販店（経営者）	・世の中の流れから、先行き不安がぬぐえないので、客は出費を相当抑えており、今の状況がしばらく続くのではないと思う。
		観光型ホテル（経営者）	・客数、消費単価の推移について、観光動向のトレンドは負の方向を示している。今のところ、明確な増加の方向を示す要因が見当たらない。
		観光型ホテル（経営者）	・去年はサッカーワールドカップのため、客足が鈍ったが、今年はないのでプラス面となる。一方、SARSの影響で、海外客、特に東南アジアからの観光客が来ないというマイナス面があり、プラスとマイナスが相まって変わらない。
観光型ホテル（スタッフ）	・今後、北海道は観光シーズンに入るが、SARSの影響の先行きが不透明であり、海外旅行組が国内旅行へシフトされても、国内景気の閉塞感もあり、全体として弱含みに推移すると思われる。		
旅行代理店（従業員）	・SARSがどの段階で収束するか不透明であり、かつ収束してもすぐには海外旅行は回復しないと思われる。		
やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・今月に入って、パートやアルバイトの募集に対しての申込人数が非常に増えている。仕事の減少が要因としてあると思うので、こうした収入の影響が今後、数字に表れてくると思われる。	
	家電量販店（地区統括部）	・SARSの影響が長引けば、中国生産の商品供給も、長期に渡り入荷が見込めず、売上が減少することは間違いない。	
	乗用車販売店（従業員）	・大手百貨店の閉鎖に加えて、建築業界にも良い話は出てこない。公共事業もなくなり、先行き不明である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（役員）	・建築・土木の受注見込が不足していることに加えて、漁業関係ではサケ・マスの出漁が決まらず、先行きに不安がある。
		高級レストラン（スタッフ）	・SARSの動向にもよるが、地域の消費動向も下降傾向が強く、先行きが大変不安である。
		高級レストラン（スタッフ）	・夏場は観光客が増えるが、近年、観光客はディナーにお金を出さなくなった。宿泊先のホテルで、コンビニ弁当やラーメン一杯で済ますことも多く、旅先でも経費節約に努めているようである。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの影響が大きく、海外旅行は壊滅状態である。渡航延期勧告の解除が出されても、すぐに回復に向かうかは予測できない。国内旅行も受注の鈍化傾向が続き、今後は夏から秋にかけての急上昇を期待するしかない。
悪くなる		百貨店（売場主任）	・地域で大型倒産があり、雇用不安や夏のボーナスへの懸念を含めて厳しいと感じる。
		コンビニ（エリア担当）	・SARSの影響で、観光客の入り込み数が減少している。また、銀行に対する不安があり、全体的に商品購入を手控える傾向が強くなると思う。
		コンビニ（エリア担当）	・収入が減少しているなか、発泡酒増税や予定されているたばこ増税等、消費者の負担が非常に大きくなっているため、今後、支出に回るお金は更に少なくなってくると思われる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・テレビで消毒だ！と言えば消毒用エタノールが、その日だけは飛ぶように売れる。マスコミで取り上げられる健康指向の値段の安い商材はプームがあり、一時的には売れるが2、3日で見向きもされなくなり、日々の客数は減っていつている。
		旅行代理店（従業員）	・デフレ、テロ、SARSといった問題に加えて、サケ漁の漁獲高の激減が予想され、こうした要因が地元経済へ与える影響を考えると、更に悪くなる。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	広告代理店（従業員）	・6月に函館駅の新駅舎がオープンすることに伴い、駅前とその周辺地区に新店舗の出店が相次ぎ、にぎわいを見せてくる。
	変わらない	輸送業（支店長）	・デフレの影響で輸入貨物、特に雑貨等に数量が増えている部分もあるが、それにも増して住宅・建設・一般消費財の落ち込みが激しく、さらに金融機関の貸し剥がしが従来通りであることを考えると、現状の状況が改善される見込みはない。
		通信業（営業担当）	・このところ新規の商談は増加傾向であるが、引き続き顧客の価格に対する要望がシビアであるため、デフレ傾向が続いている。景気動向としては大きく改善へという感じはせず、現状比較では横ばい傾向で進捗すると感じられる。
		金融業（企画担当）	・SARSの影響で東南アジアからの観光客の減少が予想されるが、その反面、道内旅行へのシフトが期待され、観光に関しては大きな影響はないと考えられる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・取引先、同業者との話で、良くなる話題が一切ない。
	その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・鋼材の値上げに絡む関連資材の値戻しが浸透し、量的増加こそ見込めないが、売上は確保できそうである。	
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度始めの各企業の経費節約・削減が具体的に実施されてくる時期であり、この影響が大きいと思われる。
	悪くなる		
	雇用関連	良くなる	-
やや良くなる		職業安定所（職員）	・今夏、商業施設の進出が予定されており、雇用需要が見込まれる。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・良くなる要素が見当たらない。かつてであれば、6月より公共事業が動き出したりしたが、今年はそれも見込めない。市長選挙の結果で、市民生活に回復の期待が生まれてくれば、やや持ち直す可能性もある。
		人材派遣会社（社員）	・5月に比べて、6月以降の求人が少し増えているものの、今後も大幅な変化はなさそうである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数が多少落ち着いてきたが、まだ、下がるところまでいっていないため、今後も大きな変化はみられない。
求人情報誌製作会社（編集者）	・札幌駅の大型複合商業施設や新規大手スーパーの動きが一段落したため、2、3か月は大きな変化なく推移しそうである。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社（編集者）	・応募採用決定率が業種によって良いところと悪いところの二つに分かれてきている。しばらくは、こうした業種動向も変わらないと思われる。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・地元大手パチンコ店が自己破産し、約120名の解雇者が発生し、地元経済の先行き不安を助長している。また、求人増加の具体的材料が現在のところ見当たらない。
		職業安定所（職員）	・大手百貨店が8月に閉店する予定があり、地域経済、雇用に与える影響は大きい。
	悪くなる	-	-

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般小売店〔カメラ〕（店長）	・カメラ写真店ということで、旅行による影響が大きい。SARSの影響が収まれば、旅行客も増え、写真の回収にもつながり、それに伴いハードの売上も伸びていく。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車販売においては、4、5月は3月までのグリーン税制の駆け込み需要の反動と、メーカー決算の落ち込みなどの反動があり、販売減となっている。6、7月には各社で低燃費低価格の新型車を投入する。
		乗用車販売店（経営者）	・6月初めに新型車発売が予定されている。新企画を中心に動きが期待できる。
	変わらない	商店街（代表者）	・6～8月までは何とかやっていけるが、9月以降は不安である。良くなる目は無いという意味で、変わらない。もしくはもっと悪くなる。店舗の改装を行い、商品のてこ入れもした、人員の整理も終えた、後は何ができるのか、という状況である。
		商店街（代表者）	・今春の賃上げ状況を見ると、ベースアップ無しの場合が多く、賞与の額も減少しそうである。また社会保険料も増額となるため、この先の消費意欲は沸かない。
		百貨店（広報担当）	・銀行問題や株価などの外的要因に少なからず影響されている。これらが改善されているという印象が浸透すれば、若干は良い方向に向かう。 ・内的要因としては、価値消費に対する対応がそれぞれの業界や店舗でできるかという事がポイントとなってくる。
		百貨店（販促担当）	・SARSの影響は払拭されないが、株価の下落や選挙の買い控えなどに歯止めがかかり、今後の中元商戦も厳しいとはいえ前年確保は難しくない状況である。
		スーパー（経営者）	・今の状況からすると、多少の外的な要因、経済環境や社会環境などで少々の変化があっても、客の消費トレンドやマインドにはあまり影響を与えず、堅実でシビアなままである。
		スーパー（企画担当）	・明らかなオーバーストア状態の中、客の選別が進んでいる。選択してもらう店になるためには、今後さらに価格対応やサービスのレベルアップが不可欠である。数字トレンドにはあまり変化は出ないと思うが、経営的にはますます厳しくなる。
衣料品専門店（経営者）		・これから夏場に向かい、夏物の本格的な動きが出てくるが、需要の停滞も続いている。客の買い物の仕方が変わっており、サービス面や精神面には金を使うが、消費や衣類に関する買い控えが目立っている。	
衣料品専門店（総務担当）	・取引先の動きや、店舗への来客数および売上単価を見ても、明るい材料が無い。 ・業者では、単価を下げ取引を多くしたいという会社が増えている。		
乗用車販売店（経営者）	・イラク戦争が終わってホッとしたのも束の間、SARSの追い打ちなど社会に安定感が無く、経済への影響が大きい。こうした不安定な状態は続く。		
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・販売数量は上向くが、夏場の需要期に向けて競争が激しくなり、それに伴って価格競争が始まり粗利益が減少するという兆候が既に出ている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（支配人）	・宿泊については、昨年のワールドカップ関係の影響は6月まで続くが、他の販売チャンネルはほぼ前年並の予約を確保できている。 ・宴会は、9月に婚礼が苦戦する見通しであるが、ほぼ昨年並みの予約件数を確保できている。 ・レストランも昨年並である。
		一般レストラン（経営者）	・依然として、食事を入れた注文で、酒ばかり飲んでいる客が多く、週2～3回の頻度で来店していた常連客が、週1回程度に減少している。
		観光型ホテル（経営者）	・予約状況は遅いが、現時点での7～9月の予約状況は前年比15%ほど少ない。 ・SARSについては、台湾や韓国などの客からのキャンセルはあるが、新しく新婚客の予約発生などで差し引きゼロの見通しである。
		観光型旅館（経営者）	・人数を追い込んで、単価下落をカバーできない。核となる団体が減少しており、必然的に募集ものの占める割合が多くなっているが、催行が悪い状態である。 ・SARSの影響は微々たるもので、夏に期待をかけて、準備を進めているところである。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行でSARS問題が沈静化すれば、動きは良くなる。国内旅行への影響は少ない。
		通信会社（経営者）	・国際的にはSARS問題や、国内では大手金融機関の大幅赤字決算など社会的ムードが悪く、庶民の購買意欲も沸いてこない。
		観光名所（職員）	・SARSの収束が見えない状況で、外国人客の減少が続いている。 ・国内旅行へのシフトも少なく、首都圏への集客を招いているだけである。
		住宅販売会社（経営者）	・土地無し客が増え、着工までに時間を要するようになってきている。 ・展示場を撤退するメーカーも出ているが、来場者数や成約数などは悪くない。 ・公庫よりも低い金利のローンが出ており、業界にとっては追い風であるが、競争も激しくなっている。
	やや悪くなる	一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	・当社はサッカー用品専門店であるが、SARSの影響で国際試合が延期になり、インターネット通販で日本代表のユニフォームが売れなくなっている。
		百貨店（企画担当）	・競合店のオープンが間近に迫っており、来客数の減少に歯止めがかからない。賞与の支給額が伸びない中、賞与時の年金や保険料負担額が増えるため、景気が良くなる要素が見当たらない。
		衣料品専門店（店長）	・こうした経済下であり、パーゲンでの訴求は客の支持を得られるが、その前後も含めたトータルでは厳しくなる。
		家電量販店（店長）	・買い控えや、検討中というものもあるが、諦めのような話も下見客から出てきており、かなり厳しくなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	・例年この時期は、当業界は物が動く時期であるにも関わらず、動いておらず、今後は動かない時期に入るので、もっと動かなくなる。
		住関連専門店（経営者）	・これからセール時期に入り、今まで以上の単価低下は予想されるが、数量の増加は期待できない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・発泡酒などの増税に加え、7月からはタバコの増税になる。こういった時期にマインドを冷やすような増税ラッシュになっている。景気は気から来ると言われており、そこを良く考えて施策を打ってほしい。
		その他専門店〔酒〕（営業担当）	・中元商戦は年々確実に悪くなっている。一般客以外はかなり絞り込んでおり、プラスになるということはないが、マイナス幅は小さいと見ている。
		その他飲食〔そば〕（経営者）	・SARS、増税、株価など不安要素ばかりが多く、これから更にオフィス人口が減少すると心配である。先行きは厳しい。
		観光型ホテル（スタッフ）	・具体的には予約数、売上の低下傾向が変わっていない。SARSのプラス影響は数字としてはほとんど出ていない。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況が前年に比べ、悪くなっている。 ・SARSの影響も当面続き、企業倒産も身近で続く。出入り業者の話では、仕事があればいい方で、毎日仕事を探すのが大変で、いつ仕事が絶えるか心配だという話であり、良くはない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（経営者）	・ 2～3か月先は、閑散期である。掘り起こし対策として、昨年実績のあったところに営業を掛けているが、不透明感が強く、例年に比べても動きが悪い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 市内の企業の賞与がかなり抑制されるという噂である。 ・ SARSの影響で、一生に一度の披露宴で、海外に行けると思っていた人がやむを得ず国内に振り替えている場合が多い。
		通信会社（営業担当）	・ 固定電話のIP電話化の流れが急激に早まっている。
		通信会社（営業担当）	・ SARSなどの影響で、売上が落ち込んでいる企業があり、全体的に向上する見通しが立っていない。
		テーマパーク（職員）	・ SARS問題で、国の対応が明確にならないと不安である。日本人として海外のSARSに対し、かなり敏感になっている。
		悪くなる	百貨店（企画担当）
		スーパー（経営者）	・ 当社の3月決算は、増収増益であったが、県内企業全体としては業績が上がるどころには至っていない。 ・ 個人の可処分所得は減少傾向にあり、将来不安による買い控えはまだ続く。業界間の競争激化や買上個数の減少などの要因から、今後の回復は困難である。
		スーパー（店長）	・ 3か月以内に、競合店が出店する。また同じ商圈の中で自社競合が2店舗できる。企業としてはドミナントエリアでの商圈づくりとなるが、店舗単体としては、前年並みの売上確保も難しい状況が続く。
		住関連専門店（経営者）	・ 知事が辞任したため、また選挙がある。選挙があると売上が減少するため、困っている。
		観光型旅館（経営者）	・ SARS問題で、関西方面で大変な風評被害があった。その分が東北に観光客がシフトしたわけでもなく、逆に旅行に対する不安を口にする客が増えている。 ・ 先日の地震で、直後の直接キャンセルはあまり発生していないものの、数か月以内に宮城県沖地震が発生するという噂が流れ、不安により予約を控える動きが出ており、宿泊客の減少が懸念される。
		旅行代理店（従業員）	・ SARS騒ぎが収まらないうちは回復しない。
		企業動向関連	良くなる やや良くなる 変わらない
		食料品製造業（経営者）	・ 酒類業の規制緩和が進んでいるが、必ずしも新しい市場創造にはつながっていない。消費も地震の被害などにより、厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ ますます短納期対応の要求が多くなっている。これに見合うコストの確保ができない状態で、業績は厳しい。一部中国市場からの国内シフトが出てきているが、まだまだ仕事量は少ない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・ 今後3か月間の受注量は、今月よりはやや増える見込みであるが、最近の景気の冷え込みやSARSの影響で、下方修正の懸念が多々ある。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・ 当面は、横ばい状態が続く。集金時の対話の中でも景気の良い話が出ないので、このままで推移する。 ・ 南三陸沖地震の影響で、保全や修復のための購買活動は活発になるが、他を控えるため、全体では変わらない。
	やや悪くなる	繊維工業（総務担当）	・ 受注量の減少から、メーカーの淘汰がさらに加速しつつある。アパレルも同様である。消費低迷が続く折、人件費などの削減も限界となっているメーカーが増えている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・ 為替が今の水準で推移した場合、輸出環境の悪化で採算が悪くなる。 ・ SARSによりアジアや中国での生産に影響が出て、当社からのアジア向け輸出が減少する可能性がある。
		輸送業（従業員）	・ SARS長期化の影響により、輸出貨物量にも変化が出てくる。やがてコスト削減や値引き交渉に入ると思う。
	悪くなる	広告代理店（従業員）	・ 得意先を回っている今後の情報に、特記事項はなく、現状では昨年実績を10～15%割り込む見通しである。
		公認会計士	・ 事業収支のバランスを取るのに、増収策が見いだせず、支出の削減策が主体となっている。
雇用関連	良くなる やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・ 各企業の好決算を受け、新しい人材を求めようとする動きが目立っており、今後少しは上向く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・当社の取引先で、中途採用も積極的で、高スキルの人材を受け入れにも積極的な企業がある。
		人材派遣会社（社員）	・スタッフの契約期間が3か月サイクル、半年サイクルでの更新が多く、企業側へも提案しやすく、また他社で終了するスタッフの獲得もしやすい。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣利用の裾野は広がりつつあるが、他社との競争が厳しく、取ったり取られたりで見えない状況である。
		アウトソーシング企業（社員）	・価格破壊の底が見えてきており、当社もその対応ができてきているので、付加価値を付けていけば何とかなる。
		職業安定所（職員）	・経済環境やSARSの影響から、企業の雇用マインドは低い。またSARSの影響で、旅行業者2社で人員整理が行われる。
		職業安定所（職員）	・リストラが一巡し、求職者数は減少傾向にあるが、企業では中期的展望が見えないためか、求人の増加につながらず、非正規型での雇用形態による採用が依然として増えている。
		職業安定所（職員）	・3か月前に比べ、求職者数は増加しているが、在職求職者や無業者（長期失業者を含む）の占める割合が高い。
	やや悪くなる	新聞社 [求人広告]（担当者）	・前年のサッカーワールドカップの効果が無い分、またSARSなどの影響が工業だけでなく、多方面で出ており、全体的に厳しくなっており、採用にもその影響が出てくる。
		職業安定所（職員）	・SARSの影響から、心理的に旅行や買い物を控える動きが出ており、サービス業を中心とした集客の低下が懸念される。
	悪くなる		

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなる	その他専門店 [携帯電話]（従業員）	・新機種の発売があり、ボーナス商戦で、旧機種の値崩れも予想されることから、良くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅のローン控除は年内入居が条件なので、この2～3か月は契約、着工の増加が見込まれる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・市内の通りに面した所に、チェーンの食品スーパーがオープンした。営業時間が深夜24時までということで、集客が良く、商店街を歩く客が増える可能性が高い。
		百貨店（売場主任）	・6月も全店企画の催事の計画があり、相当の動員力がある。7月に入ると中元がメインのセールに入り、多数の来客が見込まれる。
		コンビニ（経営者）	・地域にある大手の機械メーカーでは外国向けの商品が動き出し、従業員の募集を行っているので、いくらか上向く。
		一般レストラン（経営者）	・新幹線駅周辺の大型チェーン等に客は流れている。一方で地域密着の既存店として、専門店の味が見直され、戻ってくる客もいるので、売上が回復してきている。
		通信会社（営業主任）	・インターネットの訴求をしっかりと行えば、ある程度の加入獲得は見込まれる。
	変わらない	商店街（代表者）	・消費者の財布のひもは固く、商品は売れそうにもない。いくらイベントがあっても人が出てきても、期待を持ってない。
		商店街（代表者）	・7～8月に来客数が増加するような夏のイベントを行って、挽回したい。
		一般小売店 [精肉]（経営者）	・大手銀行の落込みのニュースが影響しているのか、客が消費に控え目な状況は今後も続く。
スーパー（店長）		・食料品は、客単価の落ち込み以外は点数、来客数ともに順調である。衣料品、住居関連の商品では買い控えがみられ、無駄な買物が減ってきており、来客数、客単価ともにダウンしている。この傾向は2～3か月は続く。	
スーパー（統括）		・大手銀行の3兆円に上る赤字決算の発表、県内のペアゼロ企業の増加、ボーナス削減予測など、消費マインドに負の影響を与える要素ばかりがクローズアップされ、消費者の財布のひもは固くなる一方である。相変わらずのデフレ基調から、商品仕入れ価格は低下しており、店頭小売価格も更に低くなる見通しである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・7月からたばこの値上げが実施されるが、6月の駆け込み、まとめ買いは期待できない。ビール、ドリンクは7月の天候に大きく左右されるが、ビールから発泡酒へのシフトが更に進む見込みで、ほとんど変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・周辺の工場の給料が上がらず、リストラなどで来客数が減少している。
		衣料品専門店（店長）	・SARSの影響で海外商品が減り、国内生産商品の需要が増えて、国内生産業の景気も良くなる。商品単価もやや上がるが、店舗数が飽和状態にあるので、総じて変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新車の売行きが極端に悪く、高額車両は全く売れない。中古車、安い単価の車の売行きは依然として順調であるが、本当に景気が良くなるのは、新車がある程度の台数を売れるように回復してからである。
		高級レストラン（店長）	・長引く不況に加えて、飲酒運転の罰則強化や酒類の増税などで、消費者の購買意欲は低く、外食自体を控える傾向が続く。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの問題が、依然としてアジア方面の旅行の販売に影響を与えている。夏休みを控え国内旅行の販売に力を入れているが、予約状況が鈍い。
		通信会社（社員）	・第三世代携帯電話についても、一時期の在庫不足の状況は解消され、販売台数は落ち着いている。
		観光名所（職員）	・旅館、ホテル、レストラン関係で、キャンペーン等を行っているところや、安価なところはある程度の実績を上げられるが、その他は例年を下回る。
		遊園地（職員）	・SARS関連等、引き続きレジャーに対する消費意欲は盛り上がりがない。
		競輪場（職員）	・現在の経済状況の中では、公営競技等につき込むお金はなかなか回らない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・顧客の財布のひもは依然として固く、近い将来に修理、整備が必要な個所があると説明しても、故障してから直すという客が多い。
		住宅販売会社（経営者）	・不動産の価格下落が進んでおり、銀行の融資も良くならない。経済の活性化が進まず、不動産物件は動かない。良いことは一つもない。
	やや悪くなる	百貨店（販売促進担当）	・SARS問題の影響が多方面に出ている。
		百貨店（販売促進担当）	・消費回復の兆しはない。ボーナスの減額などで、消費はより一層冷え込む。
		スーパー（経営者）	・社会保険料の値上げ、酒、たばこの増税が売上には大きく影響してくる。
		一般レストラン（業務担当）	・6～8月分の宴会予約数が、前年を20%程度下回っている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・婚礼が前年度より減少している。
		旅行代理店（経営者）	・SARS問題で、これからも受注は弱含みである。それに関連して、仕入れ関係も非常に悪くなってきている。
		旅行代理店（経営者）	・SARSの問題でこれからのいろいろ影響が出てくる。ただし、年配者を中心にお金はあるので、夏ごろまでにこの問題が解決すれば、あちこちに出かけたり、物を買うようになり徐々に向上。まだ拡大が続くようであれば、先行きは悪くなるので心配である。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの影響から、夏休み企画への申込みが進まない。
		タクシー運転手	・中元セール等があっても消費者の財布のひもは緩まないのので、さほど景気がよくなるとは思えない。
		タクシー運転手	・仕事は減少しているのに、毎週のように新しい仲間が増えて困っている。2種免許を取るための自動車学校も、予約で入校まで半年待ちで、他に仕事がない証拠である。
		ゴルフ場（支配人）	・県外来場者が激減している。道交法強化による対策も含め、県外来場者に対して、自家用バスやバス会社と提携してのコンペの送迎を行っているため、固定費が増加している。また、周辺の大手IT企業でリストラが強化されており、今後はやや悪くなる。
		ゴルフ場（副支配人）	・大手銀行の大幅な赤字決算の影響で、各企業の資金量、設備投資が抑えられている。勤労者の可処分所得の増加が見込めないため、ゴルフ場の来客数が増加する可能性は少ない。これから梅雨で天候が不安定になるので、取り巻く環境は厳しい。予約状況も前年と比べて落ち込んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	悪くなる	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・各企業ともかなり厳しい状況に追い詰められている。手形等も落とせないとこが出てきている。	
		住宅販売会社（経営者）	・地元企業に景気回復の兆しはなく、一部の優良企業社員を除いて、住宅用の土地購入に結びつかない。建設会社をはじめ倒産企業が増加しており、今後はやや悪くなる。	
		スーパー（経営企画担当）	・5月に開店した大型スーパーに対抗し、既存の大型、中堅スーパーがチラシを出し、激戦になるので影響を受ける。	
		コンビニ（店長）	・競合スーパーの営業時間が、今までは夜10時までであったが、6月以降は12時までとなるので、ますます悪くなる。	
		衣料品専門店（販売担当）	・現在、来客数がかなり減少しているが、2か月後にシネマコンプレックスもある大型ショッピングセンターがオープンする予定で、今後更に来客数が減少し、景気は悪くなる。	
	悪くなる	都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響で外国人が来なくなっていることもあり、3か月先までの予約状況は前年より1,500名前後少なくなっている。新しく進出してきた市内のホテルでも稼働率が上がらないとのことである。	
		旅行代理店（営業・管理担当）	・SARSの終息がはっきりしないことと、県の土木建築業の入札基準がものすごく厳しくなっていることから悪くなる。	
		企業動向関連	良くなる やや良くなる	-
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連部品は高水準で横ばい状況であるが、建設機械関連部品は微増傾向にある。	
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・新型車のモデルチェンジに伴う需要が見込まれ、5～7月の受注は前年の15～20%増となる。8月以降については不透明である。	
変わらない	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・今年に入ってから、家族連れの工場見学者も激減しており、売上単価も低下傾向にある。業界全体にこの低迷状態はしばらく続く。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・忙しい時期は一時的なもので、翌月の状況は全く予測がつかない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・公共工事が少なくなり、民間の設備投資も非常に少なく、今後2、3か月先も上昇する気配はない。	
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・安くて、割に合わない仕事はあるが、儲かる仕事はあまりない。品質にはうるさく、これ以上のコストダウンは出来ないのに、大会社からコストダウンの要請があり、価格破壊で厳しい。	
		建設業（経営者）	・受注は依然として増える見通しはない。	
		経営コンサルタント	・企業間取引では相手先を絞り込む選別がまだ進行中である。	
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資意欲は感じられるが、先行き不透明感から決断が鈍く、成約までの時間のずれ、システム範囲の絞込みがある。価格の低下等、仕事量の減少傾向は、今後も続く。	
やや悪くなる	やや悪くなる	化学工業（総務担当）	・大手ユーザーに対して、量の確保のためにやむを得ず販売価格を下げるので、利益が大幅に圧迫される。	
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・急速に落ち込むようなことはないが、2～3か月先に立上げる新規案件の動きも鈍くなってきており、先にずれ込む。従来品の伸びも期待できない。	
		輸送業（営業担当）	・SARS問題で、荷主の中国での工場生産、輸入量が減少するので、今後も落ち込みそうである。	
		金融業（経営企画担当）	・引き続きSARSの景気への影響が予想される。特に、観光地は夏場の観光シーズンを迎えるので、少なからず影響がある。	
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・量販店の折込地域縮小の動きが収束しない上に、今まで折り込んでいた曜日を変更するなどの模索も続いている。もう限界にある価格を更に下げる競争になっている。	
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・企業が広告の効果を上げるため、広告に対し総合的に取り組むようになってきている。そのため、コマースの作成費等ががさみ、利益は減少傾向にある。	
		悪くなる	悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）
電気機械器具製造業（経営者）	・新年度に入っても、相変わらず仕事量が少なく、新機種がない。従来機種も、じり貧状態が続いている。			
その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・SARSの影響で香港、中国へ出張ができず、海外物の新商品の仕入れが難しくなっている。			
建設業（総務担当）	・具体的な受注案件も、延期が決まり、再度具体化するの心配である。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなる やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・派遣需要が高まる傾向はしばらく持続する。最近では好況といわれるIT関連等だけではなく、幅広い業種から要請があるので、単価は前年より低い水準であるものの、売上は増加する。
		職業安定所（職員）	・有効求職者数が減少傾向にあり、有効求人が増加傾向にある。就職数も着実に伸びてきている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・求人のチラシ等はかなり出ているが、人選が厳しく求職者があふれている。夏物商戦の販売人員等はやや伸びている。住宅関連では、修繕、新築が目立ち、資材の動きも増えているが、人員増はない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・10月10日にオープン予定のショッピングモールへの募集がまもなくかかる。約1,400～1,500名の募集規模であるので、雇用の動きが出てくる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・景気が低迷している中、地元では大きな建設会社が倒産している。その関連企業を含めると多くの社員がおり、再就職は非常に厳しい。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・世界的なSARSの問題、日本の大手銀行等の問題は、まだ根が深いので、この何か月では変わらない。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・有効求職者数が、1年8か月連続で増加している。また、一部の事業所の事業縮小の情報が入ってきている。	
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・決算の良かった製造業では、新卒を中心として採用にやや積極的になってきている。一方で次年度も赤字が予想される企業では、採用ゼロを維持し、直近の受注は派遣、請負で対応する動きが顕著である。建設業では最も受注が落ち込む冬場をベースとして、繁忙期があれば、一時雇用で対応するという企業が目立つ。 ・来春卒業生対象の合同就職面接会では、参加企業は129社と前年の約70%であった。求人内容も設計、情報処理など技術職や、専門的知識を要する営業職が目立ち、事務職、販売職は少ない。全体で求人数は前年の60%程度である。	
悪くなる	-	-	

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	旅行代理店（従業員）	・SARSの影響が少し収まっているようなので、2、3か月後は良くなる。
		家電量販店（店長）	・電力事情から省エネが叫ばれており、エアコンに代表されるような省エネ製品を中心に、動きが生じている。地上波デジタル放送のテレビが売れており、新しいニーズが喚起されている。
	旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィーク明け早々に、夏の家族旅行関係の申込が何件もあり、例年になく早い動きとなっている。SARSの影響も、これから先縮小するであろう予想のもとに、客が動いており、このままいけば、景気も良い方向に動いていくのではないかと期待している。	
	旅行代理店（従業員）	・販売量は相変わらず少ないが、これから夏に向け、旅行の数も増え、またSARSも終息していくものと期待している。	
	旅行代理店（従業員） 設計事務所（所長）	・SARSの終息によって景気は良くなる。 ・建築計画の相談が引き続きある。この状態が更に続くことを願っている。	
変わらない	商店街（代表者）	・SARS問題が起きていること、将来が不透明であることにより、客も先行きを心配している。国が明確な方針を出さないと、先行きは良くならない。	
	百貨店（売場主任）	・毎月、予算どころか前年水準を達成できない状況が長く続いており、この傾向に歯止めがかかる様子がない。3か月先に良くなる見込みがない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・テロやSARSの影響で社会情勢が厳しいものになっている。これが物販面にも顕著に表れている。今後もその状況が続く可能性が高い。
		百貨店（統括）	・客の消費動向、取引先の商品生産の情報などを考えて、今後も状況は変化しないものと見ている。これから夏のクリアランスが始まるが、客はあくまでも必要な商品しか買わない傾向が続いており、夏の商戦に関しては上向きになることはないと予測している。
		百貨店（営業企画担当）	・SARSのような一時的かと思われる海外渡航の自粛を要因とした国内需要増は、長く続かない。母の日などのギフト需要は好調であるが、自家需要の商材の動きはいまだに力強さが感じられない。
		スーパー（店長）	・競合店がオープンした家電については、売上が大きくダウンしているが、そうした外部的な与件がない限り、店の打ち出し方で売上が上下する。景気の問題というよりも、販売側の努力次第である。一例として、先週実施した沖縄フェアで、アンダーギーという沖縄の菓子の販売を店全体で強化したところ、日曜日に4,600個売れている。
		スーパー（店長）	・SARSの影響もあり、輸入食料品の安心、安全に対する客の目は相変わらず厳しい。消費を喚起する物はまだ見当たらない。
		スーパー（店長）	・相対的な売上は、トレンドの95～98%を推移している。 ・婦人服に若干の回復の兆しはあるが、SARS等の影響で、海外旅行関係が前年4掛けの状況、旅行バック等の物販も5掛けの状況である。6月から売上が大きくなってくる、婦人の水着関係もこういった状況では厳しい。 ・ただ、昨年6月は、サッカーワールドカップの影響で、4日間売上を非常に落としているので、プラス要因も若干あると期待している。
		スーパー（運営担当）	・今現在では、大きな変化は見られない。また、今後も大きな変化はないと予想されるが、SARSの状況によっては大きく変化すると見られる。
		スーパー（管理担当）	・チラシを安く打ち出して販売をしているが、買上単価が一向に改善されず、必要な物以外の商品は購入しないという現状で推移している。 ・今後2、3か月先も同じような傾向である。
		コンビニ（経営者）	・数か月、売上は前年比をクリアしているが、客単価はガタガタと下がっている。悪くもなく、良くもなくこのままの状態で行く。
		衣料品専門店（経営者）	・売れ筋は単価の安いTシャツばかりで、このままでは春物の残品を抱える。来月に入るとセール控え、もしくはセールの前倒しで、粗利益の確保が難しい。今のままの悪い状況が続く。
		衣料品専門店（販売担当）	・品揃えも工夫しており、このまま伸びてくれれば良いが、全体の雰囲気としてあまり良くならない。このごろ、客のデパート離れを感じる。右も左も同じ物という店では満足できず、個性のある物を求めている客が多くなっている。
		家電量販店（営業部長）	・PC関連は、夏モデルの発売で少々期待できそうだが、昨年はサッカーワールドカップにより、この時期から薄型TVが大きく伸び始めた。今年は、単価も下がり、イベントもなく苦戦が予想される。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・4月同様、フレームの単価が5%程度低下しており、機能や素材よりも、デザイン、形が同じであれば、より安い商品が選択されている。この傾向は変わらない。
		高級レストラン（支配人）	・近くの商社の半分の部門が移転したため、周りに新たな企業が移転して来ない限り、このまま悪い状態が続く恐れがある。ビルの周りの人通りも以前と比較して少なくなっている。
		スナック（経営者）	・サラリーマン向けの定食の平均価格が、650円から500円以下に低下したり、衣料も中国製の安い商品を購入するという傾向があり、このまま変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4月に引き続き、SARSの影響から、アジア各国からの客が減少しているため、先行きの見通しが立たない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・完全にSARS感染の心配がなくなるまで東南アジアからの受注はしない方針のため、かなり営業は厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの特効薬が、開発されるかどうかにかかっているが、当分の間、状況が良くなるとは思えない。 ・都内に、再開発による複合飲食施設の新規オープンが相次ぎ、外食店は供給飽和にある。国内の外食需要を喚起しても難しい状況である。
		旅行代理店（従業員）	・夏場の予約状況が良くなってきているものの、販売単価はあまり高くない。数は増えても、利益ベースで考えるとそれほど商売にはならない。
		通信会社（営業担当）	・当面は、放送、通信ともに大幅な需要増の見込みがない。今後、地上デジタル放送やIP電話等の商品化による需要喚起が必要である。
		通信会社（営業担当）	・当社事業においては、設置工事費等の半額値引きを実施しているが、客の中に値引きは当たり前という雰囲気が強く見られ、反応は鈍い状況が続いている。
		ゴルフ場（支配人）	・2、3か月先の予約の出足が、例年に比べて悪い。
		住宅販売会社（経営者）	・良くなる要素が全くない。国の政策にも、世の中の景気判断にも、住宅購入に対する強い信念が感じられない。住宅に関しては、買い手市場で、客は思うような物件がなければ無理をしてまで買わない。
	やや悪くなる	一般小売店〔CD〕（営業担当）	・先行きへの不透明感が強く、趣味し好品への支出は、改善する兆しを感じられない。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（従業員）	・SARSの問題のため、海外旅行などの余暇にも金を使わなくなっており、節約傾向がみられる。
		百貨店（企画担当）	・客単価が前年割れしているの、やや悪くなるという見通しを立てている。
		百貨店（企画担当）	・来客数、売上が減少し、前年を確保することが極めて難しい状況が続いている。特に紳士服、婦人服など主力の衣料品の落ち込みが激しく、ここ数か月この状況が続いている。景気の良い業種が皆無で、今後も更に不透明な状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・5月は4月に引き続き、前年とは大きく異なり、気温の低い日が続いたことと雨の日が多いこと、台風が上陸し大雨となったこともあり、初夏物衣料品が低迷している。また、SARS問題等も深刻化しており、景気への影響が懸念される。ただ、今のところ天候が個人消費に一番影響すると考えられ、売上動向が低迷する可能性がある。
		百貨店（販売促進担当）	・銀行の問題、近隣の商業施設閉店など、先行きの不透明感が、一般消費者に不安を与えている。 ・アジア諸国に広がった、SARSの日本への伝染の不安感も追い討ちをかけている。
		スーパー（経営者）	・酒を含めた一品単価は178円、一番良い時は220円であった。これが、1円、2円と徐々に下落していくので、デフレであると実感する。良い商品を販売しても、なかなか単価が上昇しないので、総金額が到達しない。
		スーパー（統括）	・消費者が良い品物をできるだけ安く、必要最小限の量しか買わない傾向が強まっており、この数か月の消費需要には期待できない。
		コンビニ（店長）	・消費者の買い控えが続く中、9月には酒類販売の免許が自由化されるので、消費者の分散化が進む。
		衣料品専門店（経営者）	・6～8月に夏物商戦があるが、5月に夏物バーゲンに突入してしまったので、これから何をどのように売っていくかが非常に難しい。夏物がどれだけ売れるか、非常に不安である。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・今の状況であると、景気はそう変わらないが、窮乏がどんどん広がってきているし、もし日本でSARS患者が一人でも見つかったときは、外出も控えると予想されるので、事態は大分変わってくる。
		その他専門店〔燃料〕（統括）	・市況価格の下落により、口銭が圧縮され、月次収支減が続く。
		一般レストラン（経営者）	・SARSが国内で蔓延するようなことになれば、集客に影響が出ることは必至である。
		一般レストラン（店長）	・当店のある地区では再開発が進んでおり、ビルのリニューアルや建て替えが実施されているが、飲食店が増加している割には、ビルの人口が増加していないので、競争が激化し、単価が低下し、来客数も減少する形になり、やや悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・計画中止や人数減少があり予約率は下がっている。また、昨年行われたサッカーワールドカップ関係の宿泊もないので、景気は下向きになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	タクシー運転手	・今後2、3か月、明るい材料がない。夜は客もおらず、閑散としている。良くなる要素が全く見当たらない。
		タクシー運転手	・イラク問題、SARS問題についても、他人ごとではない。日本人は旅行好きなので、これらの火種にいつ火がついてもおかしくない状態である。景気には当分の間希望が持たない。
		設計事務所(所長)	・受注の見通しが全くない。
		住宅販売会社(従業員)	・住宅ローン減税の駆け込み需要も一段落して、景気の良くなる要因が見当たらないので、今よりはやや悪くなる。
		一般小売店[文房具](経営者)	・消費者の購買意欲が全くない。今のままでは、どうしようもない。
		コンビニ(経営者)	・4月は来客数が前年比100%を確保できたが、5月は90%となっている。このような動きが、来月も続くと思われる。
		衣料品専門店(次長)	・SARSへの不安感からか、客の輸入商品への警戒感があり、特に、中国製の商品には躊躇している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・SARSの影響で、ホテルの宿泊予約が約1億円減少しており、WHOの発表があるまで、当面宿泊客が見込めず、先行きが不安である。
		旅行代理店(支店長)	・SARSの影響による海外旅行の落ち込みと、金融不安の拡大により、更に消費が冷え込んでいる。
美容室(経営者)	・周囲の店の料金が段々下がってきていて、経営状態が悪くなってきている。		
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般機械器具製造業(経営者)	・弱電の方が落ち込んでいるが、これはSARSの影響で中国から部品が入ってこないためである。自動車関係がこれから良くなる感触がある。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・ディーゼル規制のため、トラックの買い替えが進んでいる。仕事は忙しい状態である。しかし、この忙しさは10月ぐらいまでしか続かない。
変わらない	変わらない	その他サービス[建設機械リース](経営者)	・夏から秋にかけての、注文の引き合いが少し増えてきている。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・得意先や日常の様子から、景気が変化する兆しが見えない。
		化学工業(従業員)	・生産数量を増加させる要因が何もなく、むしろ現行の生産数量が少しずつであるが減少傾向にあるので、場合によると、少し悪くなる。
		一般機械器具製造業(経営者)	・5月は受注量が増えて、残業をしないと納期に間に合わない状況である。今の状態が続いてくれば、何とかやって行けそうである。
		建設業(経理担当)	・何件か問い合わせ案件が出てきているが、契約成立や見積をあげるなど、具体化した話はまだ少ない状況である。
		通信業(営業企画担当)	・競合他社との価格競争が激化しており、客からの要望も厳しくなっている。価格以外での差別化に、各社とも苦慮している現状において、さしあたっての景気回復は望めない。
		金融業(審査担当)	・取引銀行変更に伴う借り換えの要請が目立っているが、前向きな投資意欲は、依然として低い。
		広告代理店(従業員)	・毎月、決まった仕事の繰り返しとなっており、売上も定額である。取引先のビニール製造会社は忙しい様子である。
		その他サービス業[廃棄物処理](経営者)	・全体的に物の動きが鈍く、低迷状態が続くようであるが、SARSの影響で、逆に国内工場の稼働率が上がる様子もある。
		やや悪くなる	やや悪くなる
電気機械器具製造業(経営者)	・当初予定していた商品を購入するかどうか、購入したら悔しゅんの念が生じないかなど、商品購入に踏み切れない客が多い。		
建設業(営業担当)	・業界各社、特に製造業は、人件費の問題もあり、海外進出をしているが、イラク戦争やSARSの問題により、需要が減っており、受注や販売量に影響している。		
輸送業(経営者)	・荷物減少に加え、自動車NOx・PM法等の触媒(装置)、DPF等の取付け費用等がかさんで、大変厳しくなる。		
金融業(得意先担当)	・小売業の売上減少が目立つ。		
悪くなる	悪くなる	金属製品製造業(経営者)	・客先の仕事量が少なく、先行きが分からない。 ・新規事業の予定がしばらくない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（総務担当）	・今年の10月1日より、10年以上の車両は、自動車NOx・PM法等により走れなくなる。新車に替えるか、軽減装置を取り付けるか選択する状態である。いずれにしても、キャッシュフローが非常に厳しい状況で、車両を減車して対応していくしかない。特に、中小のトラック業者は、この環境規制の対応のために、台数を減らし、廃業に追い込まれる企業も増える。当社も、新車を買えないので、減車をして規制に何とか対応する。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	職業安定所（所長）	・新規求職者の増加幅が、5月は減少に転じ、新規求人数が大幅に増加している。新たな人員整理、リストラの動きもみられない。
		職業安定所（職員）	・依然として企業経営者は、正規常用社員の雇用増に対しては慎重な姿勢をとっているが、正社員並みの雇用条件で処遇する期間雇用、パートタイム雇用には、増加傾向が伺える。 ・製造業での求人増加に底堅い動きが伺え、とりわけ大手メーカーの景況の影響を受ける小零細事業所の人材事業に、プラスの傾向が表れてきている。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・派遣依頼が増加傾向になってきているが、派遣料金については、現状維持か低下傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	・国内はこれ以上悪くなることはないが、SARSの影響で東南アジア、特に中国の生産に対する増強を見合わせている企業が多く、求人を控えている点が、懸念材料である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・企業の利益が下がる中で、各社人件費、広告費を抑える動きが強くなる。採用したいが、社内の人間で業務を賄う動きや、仕事量の低下に伴い、人材が余剰となるなど、マイナス面の動きが強くなる。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・街の再開発による地域活性化を期待したが、思いのほか結果が出ない。上向きの様相はあるものの、業種によっては、SARSや金融の再編、生保の利率見直しなど、社会問題による影響もあり、今後も経費削減のためのリストラが懸念される。
		職業安定所（職員）	・当所の4月の有効求人倍率が、0.87倍で前年同月を0.2ポイント上回り、就職数も前年同月を4.8ポイント上回ったが、SARSの広がりなどの生活不安、そして、夏に向けての電力不足が影響する。
		職業安定所（職員）	・4月の求人数は、対前年度比で15.3%の増加、前月比で1.2%の増加であるが、事業所の閉鎖等が一部で噂されており、その求職者数を考えると、それほど変わらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・企業の人事の話によると、将来的な動きがはっきりしなくて、規模を見直す、本社からの採用を一時凍結するということである。企業の成績の良い所は今までと変わらないが、悪い所が目立っている。
やや悪くなる	学校〔専修学校〕（就職担当）	・大手エレクトロニクス系企業で、実績が年度予想利益を大幅に下回っていること、大手銀行への公的資金投入の件、SARSによる現地工場閉鎖等の影響で、採用中止や見直しの連絡を受けているところがある。	
悪くなる		求人情報誌製作会社（経営者）	・毎年6、7月までは、募集広告はますますあるのだが、連休以降、なくなっており、平成不況の中では1番早い。5月にこのような状態では、6、7月はもっと悪くなる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・有料紹介事業者として、良くなる兆しが見えない。雇用形態が、正社員から契約期間のある雇用へシフトしている。

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔土産〕（経営者）	・良い商品、納得できる商品にはお金を使いたいという客を目にすることがあり、やがて動きは出てくる。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・客は化粧品に関しては購買意欲がある。
		百貨店（企画担当）	・例年に比べて悪天候が多いにも関わらず、来客数は増加している。改装効果が着実に表れており、このままいけば夏の商戦も期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・SARSなど不安要素が実現しない限りは若干良くなっていく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	都市型ホテル（従業員）	・予約状況がやや良くなっている。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス商戦を前にどの事業者も新商品を投入しており、活性化してくる。
		商店街（代表者）	・依然として客単価が低い。
		商店街（代表者）	・切り詰められるところは切り詰めていくと話す客が増えている。
		商店街（代表者）	・来客数は多いが、見ているだけで購入する客は少ない。
		商店街（代表者）	・同業者は減少していく一方である。
		一般小売店〔電気屋〕（経営者）	・販売量はこれ以上伸びないが、単価は低下する一方である。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・SARS問題がこの先どうなるか不安である。
		百貨店（売場主任）	・夏物商品が動いておらず、先行き不透明である。
		百貨店（売場主任）	・天候不順などが影響しており、客の購買意欲が感じられない。このままクリアランスへ突入し、バーゲン待ち状況になるのではないかと懸念している。
		百貨店（企画担当）	・来客数、購買客数とも前年並みに回復してきたが、客単価が戻ってこない。
		百貨店（経理担当）	・前月よりは多少良くなっているが、前年割れ状況はまだまだ継続する。
		スーパー（店長）	・客単価の低迷は依然として継続している。たばこの増税を控えており、今後もこの状態は続く。
		スーパー（店員）	・来客数は対前年比95～97%で推移しているが、客単価が90%程度と大きく落ち込んでいる。
		スーパー（店員）	・近隣の大型店が撤退したため来客数は増加しているが、客は特売品のみ購入する傾向にあり単価は低くなっている。客はいくつも店舗を回って、安い商品だけを購入している。
		スーパー（仕入担当）	・天候不順による青果高や発泡酒の増税、SARS問題なども、3か月後には落ち着く。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数、売上の増加はあるが、客単価の上昇は見られず、安心できる状況とまではいかない。
		コンビニ（エリア担当）	・同業他社、量販店との競合はさらに厳しくなる。売上の前年割れ状況は今後も続く。
		コンビニ（エリア担当）	・催事商品などの動きが悪く、必要な商品しか購入しない傾向はまだまだ継続する。
		衣料品専門店（企画担当）	・需要を喚起できる要素がない。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナス商戦を前に新型車が発売されるため期待はしているが、来客数が増加していないのが懸念される。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が投入されたが、販売台数は期待外れである。
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	・SARS問題の影響によって、納期の遅れや生産停止になる商品が発生してくる。
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数は減少しているが、売上には影響していない。
		スナック（経営者）	・前年同月と比較して売上は多少増加しているが、昨年来の飲酒運転の罰則強化やSARS問題による影響などが懸念される。
		都市型ホテル（支配人）	・SARS問題の影響を強く受ける。国内に感染者が発生しなければ現状維持だが、発生すれば非常に悪い状況になる。
		旅行代理店（経営者）	・米国テロの発生時には国内旅行者が増加し増収増益になったが、今回のSARS問題ではあまり変化がみられない。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行は中国以外の方面で動きが始めているものの、V字回復には至っていない。それまで店を維持することが課題である。
		タクシー（経営者）	・売上は横ばいであり、現状維持が当面は継続する。
		テーマパーク（職員）	・来客数は少しずつ減少している。
		テーマパーク（職員）	・来客数、売上、客の様子すべての面で下降気味である。
		パチンコ店（経営者）	・客の財布のひもは相変わらず固い。
		美容室（経営者）	・来客の顔ぶれには変化がないが、来店の間隔が伸びている。
やや悪くなる	百貨店（企画担当）	・SARS問題による海外旅行の自粛に伴い国内消費へのプラスの影響が出ても、夏商材の不振と相殺されて現状維持がやっとである。SARSが国内でも発生すれば状況は急激に悪化する。	
	コンビニ（経営者）	・コンビニ間の生き残り競争が本格化している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		コンビニ（エリア担当）	・同業他社やファミリーレストランの新規出店、スーパーの24時間営業などが進んでおり、競争が厳しい。	
		コンビニ（売場担当）	・旅行客も減少しており、消費者の購買意欲が低下している。	
		家電量販店（経営者）	・販売量は増加しているが単価が低下しているため、売上の増加は見込めない。	
		高級レストラン（スタッフ）	・イベント、フェアなどの集客効果が低下している。	
		一般レストラン（スタッフ）	・SARS問題による影響が懸念される。	
		スナック（経営者）	・ボーナスカットや節約ムードなど不安要素がありすぎる。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARS問題の影響が懸念される。	
		旅行代理店（従業員）	・夏の繁忙期に向かっているが、SARS問題があと半年は尾を引く。	
		ゴルフ場（経営者）	・平日にゴルフをする人が本当に減少している。料金を下げても来場者数は増加しない。	
		住宅販売会社（企画担当）	・SARS問題の影響で良くなる要素はまったく見られない。	
		住宅販売会社（業務担当）	・単価の下落が続いているため業界では収益が悪化しており、信用不安が広がっていく。	
		悪くなる	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・SARS問題は今後も経済に影響を与える。
			コンビニ（店長）	・1人当たりの買上個数は4%程低下してきている。消費の低迷はまだまだ続く。
自動車備品販売店（経営者）	・消費者はまず価格で選ぶため、単価の上昇は見込めない。			
観光型ホテル（スタッフ）	・夏休みのファミリー客の予約が激減している。			
旅行代理店（経営者）	・SARS問題の影響が今後も続くが、打開策もない。			
旅行代理店（従業員）	・SARS問題の影響で、海外旅行はもとより関西地方への国内旅行を手控えたり延期する客も一部で目立っている。			
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		一般機械器具製造業（販売担当）	・現在の引き合いの中に、受注できそうなプロジェクトが増加してきている。	
		電気機械器具製造業（営業担当）	・工事案件の受注が増加傾向にある。	
		輸送用機械器具製造業（統括）	・新型モデル車の発売があるが、産業機械においても同様の動きが見込まれる。	
	変わらない	建設業（企画担当）	・中部国際空港と愛知万博の本工事が順調に進んでおり、空港周辺を含めた関連工事情報が少しずつ動き始めている。	
		鉄鋼業（経営者）	・顧客からの発注や見積りが圧倒的に減少している。	
		電気機械器具製造業（従業員）	・SARS問題の影響から生産計画が流動的になっている。	
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・アメリカの景気後退によってアメリカ向けの生産量が大幅に減少している。しばらく回復が見込めず悪い状態が継続する。	
		建設業（経営者）	・民間の設備投資、不動産の動きなどが悪すぎる状況にある。	
	やや悪くなる	輸送業（エリア担当）	・国際貨物は、日独米の経済状況やSARS問題など不安定要素に影響される。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・売上はここ一年変化がみられないが、取引先の間ではばらつきが始めている。価格面では今まで以上に厳しい状況になる。	
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	・生産台数は対前年度比で減少傾向である。	
		建設業（経営者）	・受注価格はますます厳しくなっている。下請け業者もそろそろ限界にきている。	
悪くなる	輸送業（エリア担当）	・顧客企業はSARS問題で外国との商談ができず大変困っている。SARS問題の影響は今後徐々に出てくる。		
	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	・引き合いが減っており、単価の低下も一段と激しくなっている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（エリア担当）	・中国、台湾など東アジアからの輸入量が減少している。原材料などの輸入荷物が少ないということは、今後国内の生産加工ラインにも影響が出てくる。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		人材派遣会社（営業担当） 求人情報誌製作会社（企画担当）	・自動車メーカー、製薬会社などの工場では外注利用を増加させる動きがある。 ・求人市場は回復基調にある。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣社員の需要はあるが、他方では派遣契約の打ち切りもあり、全体的には横ばいである。
		人材派遣会社（社員）	・派遣需要は実質的には横ばい傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	・派遣就労者は増加しているが、経験業種での就労がなかなかできないため、低賃金を余儀なくされている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・自動車メーカーの期間工など大型募集広告の動きが低調である。求人が一段落する可能性もある。
		職業安定所（職員）	・以前と比べて若干明るさが出てきたが、採用は依然として少ない。即戦力を希望する傾向が強く、定着の悪い新卒は敬遠される。
		職業安定所（職員）	・新規求人が減少している一方で、新規求職者は増加している。 ・仕事が無いため起業したいが資金援助はどのようにして得られるかといった相談が多い。
		職業安定所（職員）	・中高年を中心に正社員からパート、派遣への転化が増加しているが、求職者との考え方の違いからミスマッチが発生している。
	民間職業紹介機関（経営者）	・採用者数は一時的に伸び悩んでいるが、自動車メーカーの生産に影響を与える北米市場の景気やSARS問題が良い方向に向えば改善される。	
学校〔専門学校〕（就職担当）	・大卒女子を中心に一層の就職難となっている。		
やや悪くなる	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車関連を除いて生産は下降気味であり、求人数は1割程度減少する。	
	職業安定所（職員）	・製造業で希望退職を募る動きはまだまだ継続しており、離職者数は増加する傾向にある。	
	悪くなる	-	-

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（営業担当）	・今年は夏のクリアランスセールの上立ちが例年より若干遅れることが予想される。従って、このセールの終盤に秋物のスタートをうまく切れば、それほど落ち込みもなく、売上は確保できる。
	変わらない	衣料品専門店（経営者）	・通常であれば、7、8月は暑さとともに夏物の単価も安くなり、売上も良くなる。今後、SARSなどの影響がなくなれば、メーカーも価格などを吟味して作っているのだから、前年に比べて横ばいもしくはやや良くなる。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	・安い物を求めて客の買い回りが続く。
		百貨店（売場主任）	・2、3か月後はバーゲン商戦の真っ盛りの時期であるが、客は本当に良い物しか選ばないため、割引した良い商品は売れる。
		スーパー（店長）	・最近、来客数や買上点数が増加しているが、一品単価の落ち込みをカバーするまでに至っていない。
		スーパー（店長）	・客はバーゲン期にならないと買わない傾向が依然として続いている。各分野でヒット商品が出ない限り客単価の上昇は望めない。
		スーパー（店長）	・毎日食べる食料品といえども、客は厳しい予算の中で工夫して買物をしている。このような購買態度が当たり前になり、以前見られた無駄な買物は一切しない。
		スーパー（店長）	・来客数は増加せず、単価も更に低下している。厳しい現状が続く、先行きの期待はできない。
		スーパー（総務担当）	・来客数が大きく減ることはないが、単価の上昇や買上点数の増加が見込めないため、現状が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（営業担当）	・最近では消費者がSARSの影響から中国産の食品に不信感を持っている。また、現地の中国からもSARSの影響で安価な商品が安定的に入りにくくなっている。今後は中国産の商品が日本産に切り替わり、必然的に単価が高くなる結果、買上点数が減少する恐れがある。
		家電量販店（経営者）	・10月からパソコンがリサイクル対象になるため、直前の特需が見込まれるが、その後の反動が懸念される。
		乗用車販売店（総務担当）	・車の販売単価、車種別の売れ筋状況、新車の発売時期などから判断して、相変わらず小型車中心の販売が続き、売上は伸び悩む。
		乗用車販売店（営業担当）	・来場者数はここ数か月間ほぼ横ばいで推移している。新型車が登場しても1、2週目は若干増加したが、3週目には元に戻っている。
		観光型旅館（経営者）	・景気の不透明感から、今後も一部の観光地を除き、観光産業は厳しい状態が続く。
		観光型旅館（スタッフ）	・平成14年度の売上は前年を若干上回る実績を残したが、今年1月からは前年を大きく下回っており、いまだに回復していない。今後の予約保有状況も回復の兆しがみえない。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの影響は収まるとは思えないが、旅行の動きはわずかながら改善する。
		タクシー運転手	・客の絶対数が増えないにもかかわらず、自社、他社ともに一斉にタクシーを増車したため、客の奪い合いになっている。
		競輪場（職員）	・ファン層が固定化傾向にあり、特に若年層の増加がいまひとつ期待できない。
		設計事務所（職員）	・仕事の絶対量は依然として不足しているが、顧客の我慢も限界と思われる反応もみられるため、これ以上は落ち込まない。
		住宅販売会社（従業員）	・分譲マンションや建て売り住宅は住宅ローン減税が期限切れとなる12月末まで好調に推移する。ただし、住宅の工期から逆算すると8月までに契約しなければ、完成が翌年回しとなるため、9月以降は自己資金で建築する客以外は反動で大きく落ち込むと予想される。
		住宅販売会社（従業員）	・数区画のミニ土地販売を実施したが、連休中にもかかわらず来場者数は少なかった。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街の空き店がますます増加している。撤退したショッピングセンターの空き店舗への入居者を1年間にわたり募集したが、応募者が現れないため、来月から取り壊す。
		百貨店（営業担当）	・この夏に向けての重点商品がまだはっきりしていない。また、初夏物の動きが鈍いため、メーカー側が商品の製造を絞り込むことも予想され、客の購買の伸びは期待できない。
		百貨店（営業担当）	・ファッション衣料を中心に雑貨品や身の回り品の6割以上が中国生産である。今回のSARSの影響により商品供給がスムーズにいかないため、将来的に明るさがみえない。
		乗用車販売店（経理担当）	・現在のところ、新型車やマイナーチェンジ車の計画がないため、現状維持が精いっぱいである。
		住関連専門店（店長）	・プライダルや住宅の増改築需要の家具については、手持ちの物を使用するか、必要最小限の物だけを買って揃える傾向が強い。
		高級レストラン（スタッフ）	・法人需要の高い和食店は苦戦が続いており、洋食店では輸入肉の関税が新たな課題となっている。
		スナック（経営者）	・イラク戦争やSARSなどの影響で海外渡航を控えていた人が我慢の限界に近づいているため、今後は動きが出てくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・7月までは、宿泊、レストランの通常営業や一般宴会が上回れば婚礼が悪く、婚礼が良ければ他が悪いなどの状況が続く、総じて前年を下回る見通しである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会の予約状況は順調であるが、婚礼の予約件数は前年比大幅に減少しており、加えて単価の低い物件が多く、全体の売上は前年比減少が予想される。
		美容室（経営者）	・美容業界でも客の奪い合いから価格競争になりつつあり、売上は減少する。
		住宅販売会社（従業員）	・今年末で期限切れとなる住宅ローン減税の事前駆け込み需要の反動で、売上は若干低下傾向となる。
	悪くなる	コンビニ（経営者）	・最近になって銀行が次々と撤退し、町内では都市銀行、地方銀行の計2行が残るだけとなった。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者） テーマパーク（職員）	・顧客が車の維持費用の削減に真剣に取り組む姿勢を日々強く感じる。 ・予約数は前年と比較して約2割も減少している。団体や旅行会社のツアーを含め、問い合わせが極端に減少している。周辺旅館の予約も前年比2ケタの減少と聞いている。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	- 通信業（営業担当）	- ・インターネットの接続回線の需要が順調に推移している。また、従来中心的に動いていた官需に代わり、最近は民需のシステム案件が徐々に動き始めている。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	・当社を取り巻くマーケットの環境に全く改善の様子が見られない。客の低価格志向も依然として続いている。
		繊維工業（経営者）	・先行きに大きな変化はないと思われるが、SARSの影響が懸念される。
		繊維工業（経営者）	・これから秋冬物の生産に入るが、先行き不透明なため計画が非常に立てにくい。
		化学工業（営業担当）	・既存品の売上は落ち込むが、新規取引先の売上増加が見込める。
		金属製品製造業（経理担当）	・大企業は別にして、中小、零細企業では低い価格等の押しつけや少ない仕事量などで厳しい状況が続く。
		建設業（経営者）	・仕事量そのものが不足しているため、好転はしない。同業者間では、後継者を探すより廃業を考えるという話が聞かれる。
		通信業（営業担当）	・依然として各企業とも経費を節減するため、料金プランや割引サービスの見直しを求める声が多くなる。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・新聞の配達員や外務員の募集に対して、期待以上の応募数がある。いずれも倒産やリストラによる離職者であるが、生活の深刻さがうかがえる。
	やや悪くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・取引先や競争相手のいずれから「7月以降仕事量が少なくなる」との情報が入っている。 ・一般小売店の販売が伸び悩んでいる。
悪くなる	金属製品製造業（経営者） 建設業（総務担当）	・受注の入り方がますます悪くなっている。 ・北陸3県の見積依頼物件が減少傾向にあり、依然採算も悪化しているため、業況の改善は望めない。	
雇用 関連	良くなる やや良くなる	- 職業安定所（職員）	- ・製造業の求人が回復傾向にあるため、当面は新規求人の上向き傾向が続く。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・今月は新規先からの求人依頼が増加したが、これが全体の伸びにつながっていない。
		職業安定所（職員）	・今後とも求人の中で請負や派遣が多くなる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・受注件数は厳しい反面、かなり経験のある人材の登録が増えている。高いレベルの人でも就職できないという厳しい実態がみられる。
	悪くなる	-	-

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	衣料品専門店（営業・販売） 乗用車販売店（営業担当） 住関連専門店（経営者） 都市型ホテル（経営者） 旅行代理店（店長） 通信会社（経営者） 通信会社（経営者）	・固定客からの受注が安定してきており、新規客も順調に増加していることから、先行きに期待できる。 ・会社関係の商用車、営業車が売れていることから先行きの見込みは明るい。 ・現時点で売上金額にはあまり反映されていないが、来客数に多少の改善がみられ、将来の販売に結びつく期待がもてる。 ・一般宴会などは予断を許さない状況であるが、宿泊予約については外資系企業の研修等で、多人数での長期滞在の予約などが入り好調であることから、先行きに期待できる。 ・国内旅行は引き続き北海道を中心に好調に推移し、海外は8月出発の受注が動き出している。 ・一連の新商品が出揃い、購買が僅かでも活発になるとみられる。 ・新製品が好評のため、徐々に売上増加が見込めそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・長期的にはマーケットは縮小傾向にあると思われるが、ボーナスの支給や夏の新品発売などの要因で今よりは期待できる。
		遊園地（経営者）	・近郊で同業者が廃業したため、来客数の増加を見込んでいる。
		その他レジャー施設 [イベントホール] （職員）	・夏から秋にかけてのホールの稼働日を見ると、コンサートの予約が順調である。ただ、この好調がこれからも維持できるのかについては不透明である。
		その他レジャー施設 [球場]（企画担当）	・5月に入り在阪球団の調子が良く、2年前のような優勝争いを行うこととなると来客数、物販売上の大幅増加が期待できる。
	変わらない	百貨店（売場主任）	・秋のヒット商品が見当たらないため、低迷が予想される。
		百貨店（売場主任）	・7、8月のクリアランス商戦は盛り上がり予想されるが、現状の慎重な購買行動から、まとめ買いされる客が少ないと予想されるため、売上の大きな伸びは期待できない。
		百貨店（経理担当）	・団塊の世代から少し上の世代の客には、生活をより豊かにしたいという姿勢が不況のなかでも見受けられることから、今の状態は維持できる。
		百貨店（営業担当）	・7、8月に大手スーパーが奈良に出店することにより、食料品や衣料品の販売が苦戦と思われることから、厳しい状況は続く。
		百貨店（営業担当）	・室飾品の売行きはさらに落ちると思われるが、一部ブランド品やインテリア商品は伸びる傾向にあることから、今の状況は維持できると思われる。
		スーパー（店長）	・需要が回復しても、同業者による出店増加により供給が増え、厳しい競争が続くと予想される。
		スーパー（企画担当）	・地場産業の梅の生産が前年より1割ダウンする見込みであるため、景気回復は期待できない状況である。
		スーパー（経理担当）	・上昇傾向まではみられないものの、食品を中心に堅調な動きが続くと予想される。しかし他社の出店拡大傾向から、価格競争が再激化する恐れがあり、業績に影響が出る可能性がある。
		家電量販店（営業担当）	・気温の上昇があればエアコン関係の季節商品の動きに期待が持てるものの、基本的には今の厳しい状況が続くと思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・良くなる材料が見当たらない。特にSARS問題の影響は今後も非常に大きいと予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・SARSや北朝鮮問題など簡単に解決できそうにない問題が山積みされていることや、新たに大手銀行へ公的資金投入が行われることから、先行きが懸念される。
		自動車備品販売店（従業員）	・賞与が減額される企業が増えると予想されるため、ボーナスセールを実施しても前年を確保できるか極めて難しい状況である。
		高級レストラン（支配人）	・SARSの脅威は払拭されたが、社会的な不安要素は残ることから、先行きの好転には期待できない。
		一般レストラン（スタッフ）	・SARSの影響が懸念されるが、ビアガーデンの営業が始まったため、夏に向けて少しは来客数の増加が期待されることから、現状は維持できると思われる。
		観光型旅館（経営者）	・レジャー、帰省と客の行動が活発になる時期であるが、SARS問題で行動を控える恐れがあることから、景気の悪化に歯止めがかからないと思われる。
		都市型ホテル（支配人）	・市内のホテルにおける、SARS危険地域からの団体宿泊客の受入れ姿勢によっては、宿泊客の獲得競争が激化する可能性がある。
		旅行代理店（営業担当）	・繁忙期である7月に向けて5月から上昇カーブを描いてなければいけない状況で、先行予約が国内旅行は前年並みである一方で海外旅行が50%という状況では、今後の回復は望めない。
		観光名所（経理担当）	・SARSの影響は海外旅行客の減少にとどまらず、国内旅行にまで影響してきている。回復にはまだまだ時間を要することから、厳しい状況が続く。
		ゴルフ場（経営者）	・新規ゴルファーの参入は着実に減っていることから、厳しい状況が続く。
		競輪場（職員）	・台湾人医師の問題等、何かと暗いニュースが多く、周りに明るい話題がない状態では景気の好転が望める環境にない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・閉店した店でも立地条件が良ければ新店舗が入るようになってきている。少しずつ活気が出てきており、今の状況は維持できると思われる。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・夏期講習の予約にそれほど期待できないことから、今の厳しい状況が続く。
		その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・新規投資は銀行の動きをみながら慎重な対応になると思われることから、変化は見込めない。
		住宅販売会社（従業員）	・株の売却益でマンションを購入しようという層が完全に冷え込んでいる。ある程度株価が上昇し、景気が上昇しないとマンションの購入意欲は高まらないことから、先行きには期待できない。
		住宅販売会社（従業員）	・好転の材料が見当たらないが、悪くなる要因も考えられない。また、特にSARSの影響が出るとも考えられない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・近隣に大型スーパーが出店することから、先行きの見通しは非常に厳しい。
		百貨店（売場主任）	・現在は大きな影響は出ていないが、今後はSARSの影響が商品生産、輸入に及ぶと考えられる。具体的には顧客の需要と品揃えができる時期にずれが生じ、売上の減少に繋がる懸念される。
		百貨店（売場主任）	・百貨店の最大の商戦の一つである中元は法人需要の減退などから苦戦が予想され、上期中は売上の起爆剤となる商品が見当たらないことから、先行きが懸念される。
		スーパー（店長）	・景気低迷にSARS問題等が追い討ちをかけ、不安心理が拡大することが懸念される。
		コンビニ（経営者）	・近隣に路上での弁当販売が増えており、今後弁当類の売上に影響が出ると懸念される。
		コンビニ（店長）	・SARS問題等で景気の回復にはまだ時間がかかる。
		衣料品専門店（店員）	・7、8月は通常売上が伸びる月なのでセールを行う予定であるが、現状の販売不振からすでにセールを前倒しで行っているため、より一層の景気悪化が予想される。
		家電量販店（経営者）	・SARS問題が悪影響を及ぼすと思われることから、先行きの見通しは暗い。
		観光型旅館（経営者）	・SARSの影響で消費者の旅行意欲が低下していることから、先行きには期待できない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARS騒動が今後の営業にどの程度影響するのは予測が困難であるが、一般の観光客の減少にとどまらず、修学旅行の目的地として選択されなくなったり、アジア地区を中心とした海外からの客の減少が今後も継続すると思われる。
	悪くなる	一般レストラン（スタッフ）	・SARSの影響はすでに空港の店舗に出ているが、これから一般の食産業にも波及すると考えられる。特に安全宣言が出されたとはいえ、関西における台湾人医師の影響やカナダのBSE発生も先行きの暗さを示している。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊はSARS後の回復が見込みにくく、予約率は低いままである。宴会も婚礼一般とも予約状況が厳しいことから、先行きの見通しは非常に厳しい。
		旅行代理店（営業担当）	・近い将来、大手旅行社の中で破綻する企業が出てくる可能性が高いと思われるなど、先行きの見通しは極めて厳しい。
	企業動向関連	良くなる	
やや良くなる		繊維工業（経営者）	・海外からの安価な繊維製品の輸入増加に苦しんできたが、SARS問題により中国からの輸入数量が減少する可能性が出てきており、先行きに期待できる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・航空機部門の落ち込みをカバーするため、有機EL関連商品の受注を新規開拓しつつあることから、先行きに期待できる。
		広告代理店（従業員）	・郊外を中心に大型店の出店が予定されており、広告宣伝の新規売上が見込まれる。
変わらない		金属製品製造業（経営者）	・SARS問題、金融問題と中小企業を取り巻く問題が多く、明るさがみえないことから、今の厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・多品種少量生産のため、コストの対応が困難であることから、厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・SARSの影響で、徐々に製造工程に影響が出てきている。今後さらに広がるのではと懸念している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・相変わらず引合いが低調で、補修程度の仕事を中心になると予想される。今後も売上金額が低調のまま推移すると予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（経営者）	・一部のユーザーは不動産価格の底入れが近いとの予測から、収益物件の取得に前向きになっているが、全般的に不動産市場は厳しい状況が続く。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・新規開発が行われている地域があり、読者の増加が期待できるが、これまでの世帯増加に対しての普及率を考えると、大して良くならないと思われる。
		広告代理店（営業担当）	・広告の受注先や従来のクライアントのなかにも目立って良いところはみられないことから、先行きに期待はできない。
		コピーサービス業（従業員）	・SARSの影響が更に深刻化し、海外旅行はもとより入込みへの外出を避ける人まで増えてきている。日本国内での1人の発症が景気を大きく左右することも懸念されることから、先行きには期待できない。
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・広告需要を喚起するような、オリンピックやサッカーワールドカップのようなビッグイベントも当面予定されていないため、マイナス要因ばかりが目立つなど、先行きには期待できない。
やや悪くなる		化学工業（経営者）	・SARS問題等、不安要素が多く、前向きな発想が出にくいことから、先行きの見通しは暗い。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注減により生産ラインの3分の1を停止し、リストラも行った。さらに悪くなる動きは出ていないが、当面は今よりも受注は落ちることから、先行きには期待できない。
		金属製品製造業（営業担当）	・円高の影響やSARSの影響から、先行きが懸念される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・製造に必要な部品をドイツの企業から輸入しているが、このところのユーロは1年前より30%以上高くなっているため、今後国内での販売が困難になると予想している。取引先の設備投資の停滞とあいまって、先行きの見通しは厳しい。
悪くなる			
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・一部製造業で短期的な受注が安定していることから、先行きに期待が持てる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・イラク戦争後の復興資金負担とSARSによる世界経済の被害が浸透していく可能性がある一方で、企業の3月決算及び新卒採用状況が上向いているので、現状水準は維持される。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は微増しているが、その中身は業務請負、派遣社員の求人の高止まりであるなど、正社員を希望する求職者とのミスマッチは解消されそうにないことから、今後も今の状況が続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・4月において、管内での企業倒産が例年より2割程度増加し、要因についても販売不振という景気変動要因が突出して多い。また、管内の大手企業から人員整理や部門廃止等でそれぞれ50～60名程度の退職者が発生するなど、厳しい現状が続いている。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・就職活動中の学生からも、訪問先の企業からも前向きな話は聞こえないことから、先行きには期待できない。
		民間職業紹介機関（支社長）	・SARS問題への過敏な反応で、人ごみを避ける傾向が強くなることから消費が低迷すると予想される。また、大手銀行への公的資金投入の件は、中小企業の多い関西には影響が大きいことから、先行きの見通しは厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・銀行、生保、旅行会社、流通関連、ビルメンテナンス会社等、今まで人を一番必要としてきた企業のリストラが一段と加速している印象から、先行きの見通しは厳しい。

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	美容室（経営者）	・大型ショッピングセンターへの出店に伴い良くなる。
	やや良くなる	コンビニ（エリア担当）	・取引先の商談状況も順調に進んでおり、落ち着いた形で伸びつつあり、全体的にも少しずつ良くなってきている。 ・2、3か月先の計画まで読めており、よほど暑くならない限りこの状況が続く。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・イラク戦争も終わり、今後はSARSの状況が景気に影響してくる。 ・客の購買意欲も徐々に変わってきている。
		旅行代理店（団体営業担当）	・SARSの影響がさらに薄れる。
		通信会社（企画担当）	・業界再編の動きがありそうで、業界内淘汰が少し進むことで、生き残り組の業績好転の可能性が出てくる。
		通信会社（管理担当）	・夏商戦に向けて新商品の発売が控えており、売上増加が見込まれる。
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街は今のところSARSに関する悪い影響は出ていない。
		百貨店（統括）	・必要な物や子供服の動きから、欲しい物に関しては購買意欲を感じる部分もあるが、商品によっては明らかに販売量も単価も減少しているという物もあり、どちらとも言えない。
		百貨店（営業担当）	・駅の付近に開設予定である大型小売店のテナント誘致がうまくいっていないようで、消費活動に向けた消費者の購買意欲の伸びのなさから、そうした状況が生まれている模様である。
		百貨店（販売促進担当）	・ここ3か月ぐらいの間に、地元建設業者が相次いで破たんしており、商圏内の消費ムードは一向に良くなってこない。 ・SARS等の影響もあり、商品の原産国を確認する客の声も聞かれる。
		百貨店（販売促進担当）	・2、3か月後は中元シーズンに入るが、法人を始めとする大口ギフトの需要が落ち込んでおり、個人需要に頼らなければならぬ。
		百貨店（売場担当）	・3か月後はクリアランス時期だが、今現在行っているセールの様子から、低単価の商品も悩んで買う傾向は変わらない。 ・SARSの影響もかなり出ており、旅行へ行くための洋服選びが若干減ってきている。2、3か月先も今の傾向は変わらない。
		スーパー（店長）	・客は家計を守るため余分な物を買わず、安くしても量的効果がないという状況がずっと続いている。
		スーパー（店員）	・今の状況以上に特に客が増えるところが見当たらない。単価は下落し、荒利は減少する一方で競争は厳しい。互いに身を削り合っている様子で、少ない客を取り合いしている。
		スーパー（店員）	・対抗店もなかなか伸び悩んでおり、この1か月は広告を絶え間なく出し、客もそれに応じて行ったり来たりしている。この状況は今後もあまり変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・客は財布の紐が固く、長時間スーパーや競合店の出店が厳しさに更に拍車をかけてきており、この状況は変化しない。
コンビニ（エリア担当）		・来客数は増加しているので売上は伸びており、この状況はほぼ変わらない。	
コンビニ（エリア担当）	・業績に下降傾向はみられないが、競合店の出店鈍化によるところが大きく、当面景気回復は難しい。		
衣料品専門店（店長）	・売上は継続的に伸びているが、顧客の来店頻度が減少している。土日型になっており、平日の客の動きが悪い。		
家電量販店（店長）	・5月に個展を開いたものの、招待客の来客も少なく、今後は客その人その人に合った招待状を作成し、来客数を増やす努力をしなければならない。さもなければ今と変わらないような非常に悪い状況が続く。		
乗用車販売店（統括）	・どの業種の客も良くなる気配を感じられないと言っており、好況不況の差は、業種ではなく企業トップの決断やセンスによって出ている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		自動車備品販売店（経営者）	・最近消費は上昇傾向にあったものの、ゴールデンウィークの後、来客数が減少している。 ・例年は7月、8月にかけてボーナス時期になるため活況となるが、先行き不安感が根強く、消費マインドは簡単に上昇しない。
		高級レストラン（スタッフ）	・この2、3か月、予約状況は変わらず、あまり多くない。また予約が比較的直前に入るケースが多い。
		観光型ホテル（経理総務担当）	・6月については婚礼件数が昨年よりは伸びているが、一時的なものである。平日の客が非常に少なく土日集中型で、先行きは依然厳しい状況が続く。
		都市型ホテル（経営者）	・7月ごろまで婚礼受注件数の不振が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響で海外旅行が減少している分、国内旅行は多少増えているが、国内でSARSが発生した場合には、国内の旅行も減る。
		旅行代理店（経営者）	・いまだに新たなSARS感染者が発生しており、治療法や薬品開発の見通しが立っていない以上、先行きは不透明である。
		通信会社（営業担当）	・光ファイバーを使用した家庭用インターネットは低価格化により普及しつつあるが、現状の費用支出と同様か、それ以下の場合に乗り換えるという基本的スタンスは変わりそうにない。
		競艇場（職員）	・ここ2、3か月の動きで変動がなく、これから先の2、3か月もビックレースの予定がない。
		レジャー施設（営業企画担当）	・飲食部門とホテル部門は手ごたえを感じる営業内容になっているものの、日帰り温泉の来客数減少が深刻であり、この先まだ安心できる判断材料は少ない。 ・低価格路線から定価高付加価値路線への変更が客離れの原因となっており、回復にはまだ時間がかかる。
		設計事務所（職員）	・社会経済状況に際立った変化がないため、個人住宅の新築、改築状況に現在とあまり変化はない。
やや悪くなる		商店街（代表者）	・今後もSARSがポディーブローのように商店街全体に影響を及ぼす。 ・商店街のシャッター化が進んでおり、商店街内の売却予定地の競売により、どのような形でこの空き地が活用されるかによって、売上が変わってくる。
		百貨店（売場担当）	・外商売上が3か月続いて昨年を大きく下回っている。去年は決まっていた美術品の高額品も、今年の販売は全く皆無といった状態で、売上が厳しい状況である。
		コンビニ（エリア担当）	・菓子、食品、雑貨、アルコールの売上が落ち込んでいる。今後もスーパー、ディスカウントショップなど、低価格店に客が流れる。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・集客を図る宣伝等をやってもなかなか客数増が見込めない。
		家電量販店（店員）	・ボーナスなどの支給が不安定で収入の見通しが立たないため、商品単価が下落している。
		乗用車販売店（総務担当）	・今後新型車が出ないため、様子見の状態が続く。 ・小型車しか売れない状況がより鮮明になってくる。
		乗用車販売店（統括）	・来客数が4月、5月と段々減少しており、6月以降もこの状況が続く。
		タクシー運転手	・客の中に「この春闘でも給料が上がらず、反対に下がったため、消費を控えるしかない」という内容の会話が大変多くなっている。
		通信会社（経営者）	・新規加入実績が従来平均値を大きく下回っており、客の反応もより厳しい。
		テーマパーク（広報担当）	・先日のSARSに感染した台湾医師の問題に対する反応からすると、解決の見通しが立たない限り、観光業界は上向かない。
悪くなる		乗用車販売店（営業担当）	・新規来場者が激減しており、来場促進の施策として価格訴求などの手を打ってはいるが、なかなか来場者数は増えてこない。
		その他専門店[時計]（経営者）	・1か月後に東京から大手の婚約指輪、結婚指輪専門店が進出オープンするため、従来の店から客が流れてしまう。
企業動向関連	良くなる	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注状況が良くなっている。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・新商品の大幅な増産要求が数か月続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（総務担当）	・今期から少しずつ仕事が入っており、6月以降毛計画的に仕事が入る予定である。
		金融業（業界情報担当）	・地場の自動車メーカーでは、コスト面から収益は厳しく低い伸びになるが、新型車の生産開始により操業は一段と高まる。ドル安円高による北米向け輸出の失速が懸念されるが、景況感は改善基調にある。
		広告代理店（営業担当）	・周辺地域に大商業施設がオープンし、14のテナントが開店するため、地元雇用も見込める。 ・駅名変更による新幹線の停車を見込んだ、マンション、事業所進出が増加し、好影響を及ぼす。
		コピーサービス業（管理担当）	・効率化、コストダウンのために行った設備投資の効果が出てくる。
	変わらない	繊維工業（統括担当）	・SARSの影響を若干心配しており、まだまだ今のような状況が続く。
		化学工業（総務担当）	・製品価格の上方修正の動きをしているが、見通しは厳しい。 ・固定費の削減など原価を下げる努力をしており、今後若干持ち直すものの、収益構造が悪く、今後の見通しは依然として厳しい。
		化学工業（総務担当）	・現状は比較的堅調に推移しているものの、ナフサ価格下落の行方が不透明である。 ・SARSの影響による買い控えがある。
		鉄鋼業（広報担当）	・SARS問題の長期化や、タイで日本製鉄鋼製品に対して発動されたアンチダンピング措置に伴う訴訟など、懸念材料が多く、先行きは不透明である。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・今後も販売価格の下落傾向は続き、回復の見込みは全くない。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・SARSの影響が長引けば、海外事業とりわけアジア向けの輸出が不安になるが、国内の受注量は若干増加傾向にあり、全体的には変わらない。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・各液晶メーカーとも、付加価値の高いサイズにシフトしつつある。 ・競争激化から値段の下落につながっていく。
	通信業（営業担当）	・大きな収入源であった音声通信関係は、IP電話の加速による収益減が明白になりつつあり、これに変わる収入源の確保について各社の模索状態が当分続く。	
	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・現在、自社製品は売上の20%であり、他社の委託商品を取り扱っている比重がまだ高く、自社の増産体制は取引先の販売受注量に左右され、見通しが立てにくい。
食料品製造業（総務担当）		・4月に新商品を発売したが、色々な商品を出しても、消費者からみると真新しさを感じられないのか、各市場でも売上が伸びていない。今後は状況をみながら、スポット的に売り方を検討する必要がある。	
窯業・土石製品製造業（総務経理担当）		・第1四半期に好調だった反動があり、生産量は減少が見込まれる。 ・15年度に価格の値下げがあるため、企業活動の景況感を圧迫する。	
電気機械器具製造業（総務担当）		・直接的ではないが、SARSの影響が若干あり、受注量が減って今後の見通しが悪くなっている。	
建設業（営業担当）		・受注量確保のための受注価格の下落競争が激化しており、元請、下請とも体力的に厳しくなる。	
金融業（営業担当）		・3月決算の数字が出始めてきているが、軒並み減収減益であり、赤字決算も多い。当期利益の段階ではなく、経常利益、営業利益の段階で赤字であり、今年度人件費カットや夏の賞与も大幅に減らす予定の企業も多い。	
悪くなる	鉄鋼業（総務担当）	・東アジアに蔓延しているSARSの影響を受けて、営業の受注活動情報や5月の受注量、6月以降の受注予定は、エレクトロニクス関連材料の動きを中心に冷え込みが加速している。 ・堅調だった自動車関連材料の動きにやや陰りが出始めており、わずかながら受注量が確実に減少しつつある。	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる 変わらない	人材派遣会社（経営者）	・企業がコア業務へ経営資源を集中する中で、人材派遣の需要が生まれてくる可能性はあるが、サービス品質の高い派遣事業者のみが、その人材需要を満たすことができる状態である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕(担当者)	・雇用関係は厳しいが、業種によっては上向いている。消費も比較的回復傾向にある。
		新聞社〔求人広告〕(担当者)	・SARS問題などが景気持ち直しの足を引っ張っており、夏頃まで好材料が見当たらず苦戦する。
		職業安定所(職員)	・求職者数の増加傾向は止まってきているが、例年に比べて新規求人の出方が悪い。
		職業安定所(職員)	・SARSの影響が懸念されるが、今のところ目立った動きはない。
		職業安定所(雇用開発担当)	・製造業の新規求人は少しずつ増えているが、その増え方が期待できるほどではない。
		民間職業紹介機関(職員)	・求人側、求職側とともにベストマッチでしか成約しない傾向になっているため、雇用は緩やかにしか推移せず、景気回復促進とまでは至らない。
		学校〔大学〕(就職担当)	・就職関係で比較的的内定は出ているが、就職先の決定までは至らない。
	やや悪くなる	民間職業紹介機関(職員)	・平均的レベルの業務遂行能力ならば派遣社員で済むため、正社員としては採用しなくなってきている。
	悪くなる	人材派遣会社(支店長)	・求職側は、賃金に関して過去の水準に固執する傾向がある一方、求人側には、低賃金で雇用保障を緩めたいという高いモチベーションを期待するという矛盾があり、状況が改善される兆しはない。

9. 四国(地域別調査機関: 四国経済連合会)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	商店街(代表者)	・SARSやイラク戦争の心理的影響は下火になってきており、長期の消費低迷で、消費者も我慢の限界にあるように思われる。商店街を中心に開催する夏のイベント等の開催効果により、消費マインドは徐々に高まると思う。
		スーパー(営業担当)	・売り場面積を増床したので、売上は増加する。
		通信会社(営業担当)	・ボーナス時期に合わせ、新商品を6月、7月、8月と発売する計画であり、売上は増加する。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕(販売担当)	・最近の売上は、前年を下回っており、回復の見通しが立たない。
		百貨店(営業担当)	・商品や部門により、業績に好不調はあるが、前年を上回る商品が多くなってきている。特にブランド品は一部苦戦を強いられているものもあるが、相対的には好調である。
		スーパー(店長)	・景気が良くなる条件が見当たらない、しかもSARSの影響が日本に及んでくれば、これ以上に景気は悪化する。
		スーパー(企画担当)	・生活防衛型志向の購買動向が定着をしており、この状況は変わらない。
		スーパー(財務担当)	・ゴールデンウィークは期待したほどの成果はなかったが、売上、来客数とも、昨年と比べると回復してきている。
		コンビニ(店長)	・ゴールデンウィークは、昨年より少し悪い状況であったが、1か月を総合的にみると例年と変わらない。売上、客の流れは、昨年と同じ傾向で推移しているため、今後も変化はない。
		コンビニ(代表者)	・好転の材料が見当たらず、消費者の手控えが見られる。また、競合店が出店予定であり、競争の激化が予想される。
		家電量販店(営業担当)	・販売量が増加しても商品単価が低く、売上が増加しないという厳しい状態が続いている。
		一般レストラン(経営者)	・半年間の月別売上を前年と比較すると、減少幅は小さくなっているものの、前年割れが続いており、3か月先も大きな変化はない。
		観光型旅館(経営者)	・SARS問題が解決するには、まだ3か月ぐらいはかかると感じており、旅行者や消費者マインドの冷え込みはしばらく続く。
	美容室(経営者)	・今月の売上の落ち込みに対して、チラシの配布、ダイレクトメール等の対策を行ったので、その成果が出る。	
	住宅販売会社(従業員)	・計画中の客のプラン数や接触状況から判断すると、厳しい状況に大きな変化はない。	
	その他住宅〔不動産〕(経営者)	・今年に入って、ずっと低調に推移しており、今後も需要が増加するとは思えない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	一般小売店〔乾物〕 (店員)	・イラク戦争は終結したがSARS問題や北朝鮮の核問題、円高の問題、金融破たんの問題等、景気が良くなるきっかけが全く見つからない。
		百貨店(営業担当)	・賞与カットの問題もあるが、医療費3割負担になったことが、今後しばらくは悪影響を及ぼす。
		スーパー(店長)	・来客数は1.5ポイント上昇しているが、販売単価は1.5ポイント減少し、買上点数も昨年を下回っている。来店はされるが、商品は買わない、もしくはより安い商品を買っている傾向が見受けられる。
		家電量販店(店長)	・夏物商品の動向にもよるが、昨年のワールドカップのように需要を押し上げるイベントがないため、現在の状況から見て、良くなるとは思えない。
		都市型ホテル(経営者)	・個人、団体共に宿泊の予約状況が非常に悪い。レストランの売上は、安価なものは売れているが、利用人数が減少しており、ますます悪化する。
		旅行代理店(従業員)	・景気が悪い上に、SARSの影響も依然として残っており、旅行者にとっては非常に厳しい環境になっている。
		観光名所(経営者)	・SARSに感染した台湾人医師の問題で、予約のキャンセルが続出している。安全宣言は出たが、風評被害が続いており、徐々に回復していくと思うが時間はかかる。
		設計事務所(所長) 設計事務所(職員)	・低価格マンションの販売が増加している。 ・3か月先の工事受注量は、現在の工事受注量と比較して、大幅なアップが見込めないことから、やや悪くなる。
	悪くなる	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・例年、5月をピークに、6、7、8月と売上が減少するが、今年はそれに加え、価格の下落により、さらに売上が減少すると予想している。
		衣料品専門店〔婦人服〕 (経営者)	・来客数と単価ともに減少している。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	家具製造業(経営者)	・在庫調整の終了、季節要因による出荷量の若干の増加に加え、新商品及び新規顧客の獲得による実需の上乗せがあることから、やや良くなると思う。
	変わらない	一般機械器具製造業 (経理担当)	・排ガス規制に伴う受注は、あと1か月で落ち着くと思われるが、その後の景況に明るい兆しが無い。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・7月頃までは、外国向けDVD関係等の組み立ての受注があるが、今まで定期的に入っていた受注の先行きが見えない。
		広告代理店(経営者)	・デパートの夏物商戦では、一部高級ブランド品の中には、対前年比で20~30%の売上を伸ばしているものもあるが、総じて出足は鈍い。また、携帯電話の需要が止まり、それに合わせたように、上半期の広告予算も大幅に減少している。
		公認会計士	・取引先の状況等を助案すると、急激に消費が回復するとは考えられない。特に松山は、観光地としての特色が強い関係上、観光関係の需要の伸びが期待できないことから、急激な景気の回復は難しい。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・円高の問題、SARSの問題は先行きが見えず、経済に大きな影響を与えてきており、今後の景気は悪くなる。
		輸送業〔貸切観光バス〕 (経営者)	・SARSの影響も含めて、景気の悪化は、余暇産業分野にかなり悪影響を与えている。
		金融業(融資担当)	・建設業では、受注が減少する夏場に、資金繰りに行き詰まる企業が増加する。
		広告代理店(経営者)	・客の広告予算は依然として厳しく、大手企業は本社で一括発注する傾向になっている。
悪くなる	食料品製造業(従業員)	・中国からの鶏肉関係の輸入再開の見通しが立っていないため、良くなることはない。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社(支店長)	・派遣需要は、低調な状況が2、3か月は続くと思う。それに加えて、派遣料金の単価の引き下げ要請があり、すぐに好転するとは思われない。
		職業安定所(職員)	・新規求人は、サービス業で増加したが、製造業では依然厳しい状況が続いている。
	やや悪くなる	人材派遣会社(支店長)	・支店統合、集約をする会社が数社あり、こうした状況からやや悪くなる。
人材派遣会社(支店長)		・派遣から経費の安いパートへの切り換えが今後も続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社 (従業員)	・新たな事業展開や景気のいい話が全く聞かれなくなった。 また、賞与カットの話も出ており、2、3か月後は、やや悪くなっている。
		職業安定所(職員)	・パートを含む有効求人倍率は0.47倍と、4か月連続で減少している。新規求職者、有効求職者ともに増加しているが、不況によるリストラなどの離職者が対前年同月比で6割増加している。また、求人の減少傾向に歯止めがかからないことと、内容面でもパートや期限付き雇用が増大するなど、求人状況の悪化が顕著になっており、雇用環境はなお悪化する。
	悪くなる		

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店(営業担当)	・このままゆるやかな回復で前年を上回ると思われる。
	やや良くなる	商店街(代表者)	・今月はイベントがあり客の動きも良く販売量が多い。しかし高額なものは売れていない。
		スーパー(店長)	・販売量は減少しているが、紳士・子ども服が1年ぶりに売行き好調であり、明るい兆しを見せている。
		スーパー(企画担当)	・改装店舗の好調さに加え、既存店売上対策の効果が期待される。
		衣料品専門店(経営者)	・国内ではSARSも一応の落ち着きを見せているため、現在の状況がこのまま安定すれば景気も上向きになる。
		コンビニ(店長)	・来客数が増え、下降線をたどっていた単価も上がりそうである。売上自体はそれほど増えてはいないが、これから先に少し期待感を抱かせる状況になっている。周囲では新幹線工事等が始まり、その相乗効果と見られる。
		その他専門店[ガソリンスタンド](統括)	・平成14年1月に経営破綻したリゾート施設が、新たにオープン予定である。安近短旅行を求めてにぎわい、地元雇用も増えるなど、明るい話題となると見られる。
変わらない		商店街(代表者)	・中心街から大型店がなくなり、来街者が少なくなった。商店街では物産市を第2、4日曜日に行っているが、それでも人通りは依然厳しいままであり、今後もこの傾向が続く。
		商店街(代表者)	・消費者の購買マインドが完全に冷え込んでいる。SARSの影響もあり全体的に低調である。
		百貨店(営業担当)	・買い控え傾向がギフトから自家需要に移行してきた。催事により来店が増加しても購買につながらない。
		百貨店(売場担当)	・入店客数はほぼ回復したが、主力の婦人衣料品、身の回り品が不調である。これらは2、3か月先の動向を判断する上でポイントにしている。
		一般小売店[茶](店長)	・経済政策や金融政策の不振に加えてSARS等の影響により、さらなる深刻な金融不況に突入している。この傾向は今後も続く。
		コンビニ(エリア担当)	・たばこの増税を7月に控え、駆け込み需要が期待できる。
		家電量販店(経営者)	・使用している電気製品が故障しても、最近では買い替えにつながらない。
		乗用車販売店(管理担当)	・中古車の売行きは堅調である。新車はほぼ通常どおりである。
		その他小売[雑貨卸](総務担当)	・SARSやイラク戦争の後遺症が徐々に売上に影響しそうである。
		高級レストラン(スタッフ)	・SARSの影響が懸念される。
		観光型ホテル(スタッフ)	・SARSの影響で、アジアからの宿泊減少が懸念される。
		都市型ホテル(スタッフ)	・予約状況は通常どおりであり、SARSの影響は見られない。
		タクシー運転手	・修学旅行等の団体客が海外旅行を国内旅行に切り替えているようである。SARSの影響もあると思われるが、この傾向は2、3か月先まで続く。
		通信会社(業務担当)	・カメラ付き携帯電話の新機種が発売とキャンペーンにより、買換え需要が大きく伸びることが予想される。一方、新規販売は、他会社からの切替えは容易ではなく、それほど伸びない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（職員）	・SARSの影響により7～8月に予定されていた台湾からのツアーが延期になっている。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン特別減税により、動きが見られそうだが、先行きは不透明である。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン特別減税による駆け込み需要が若干見込まれる。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・メイン通りで、老舗が業務縮小を決定している。
		百貨店（業務担当）	・SARS等の問題や賞与見送り等は、消費マインドを下げる。
		スーパー（経理担当）	・地元小売店を中心に陣取り合戦のように出店が続く、販売量・客単価ともますます下落することが懸念される。
		衣料品専門店（店長）	・今年1月から、土日祝日の売上が極端に減少している。この傾向が今後も続く。
		家電量販店（企画担当）	・銀行の不良債権問題やSARS問題等により、消費が冷え切っている。この傾向が今後も続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARS問題が長期化し、個人消費が落ちこむことが懸念される。
		都市型ホテル（総支配人）	・SARSの影響が懸念される。
		旅行代理店（従業員）	・東南アジア路線を持つ航空会社がフライトをキャンセルするなど、回復の兆しが見えない。
		旅行代理店（従業員）	・夏休み期間にSARSの影響が懸念される。
		旅行代理店（業務担当）	・国内旅行への振り替えを喚起するような企画案が、国内の運輸規制などで実現に時間がかかり、商品の提供が遅れている。
	タクシー運転手	・お年寄りが病院に行く利用が少なくなった。医療費の3割負担等の影響で、タクシーを使わない高齢者が増えている。この傾向は今後も続く。	
	競輪場（職員）	・来客数は前回調査と同様だが、購入単価が3～5%減少している。	
悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・SARS等の一過性の原因ではなく、失業率の上昇や消費税引き上げの懸念等の不安材料が、消費を冷やしている。	
	コンビニ（店長）	・イラク戦争が終結した矢先にSARSが発生し、先行きが見えない。	
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・SARSの影響で中国からの輸入がストップし、国産物の引き合いが強くなっている。
		繊維工業（営業）	・SARSの影響は不明である。
		鉄鋼業（経営者）	・原料価格が当面2か月程度は安定すると予想されている。製品売上価格の上昇が期待できる。
		建設業（総務担当）	・見積り依頼が非常に増えてきた。一方で受注した場合の工事を消化するための資金調達が心配である。
	変わらない	金属製品製造業（企画担当）	・一部上場会社の損益回復は別格として、中小企業は設備投資する体力も無く、投資に見合う効果を見いだすことができない状態である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連の各大手の動きであるが、6、7月とスポット的に受注が入っている。これは過去1年間は見られなかった状況である。また液晶関連のロボットに関しても動きはさほど悪くない。
		建設業（総務担当）	・SARS問題が大きく影響する。
		通信業（経理担当）	・SARS問題で日本も協力するようなことになれば大きな影響が出るのではと心配している。
		広告代理店（従業員）	・新聞折込チラシの受注金額・受注枚数・受注件数とも横ばいであり、企業の広告予算から推察して、今度の伸びも期待できない。
		経営コンサルタント	・国内景気が悪い上に、SARS問題等の悪い要素が重なっている。
		経営コンサルタント	・地元の金融関係の貸出はさらにシビアになりつつあり、この状況が中小企業を圧迫していくのではないかと懸念している。
やや悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・見積り依頼が少ない。また、少ない仕事を安い価格で取り合うという状況は、今後益々激化し、その仕事も2ヶ月先は不透明である。	
	家具製造業（従業員）	・家具をヨーロッパから輸入しているが、ユーロ高が続いているため為替の影響で悪くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	不動産業（従業員） その他サービス業〔物 品リース〕（役員）	・住宅展示場部門の出展が減少している。また、サラリーマン層の来客が減っており、住宅需要の先行きが懸念される。出展メーカーの倒産も相次いでおり、回復の兆しが見えない。 ・SARSの影響は県内観光業者、特に旅館ホテルに出ており、経営マインドの一層の冷え込みが景気回復の遅れを心配させる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・最近の求職者の動きを見ると、働く条件よりもまず就業の安定を最優先する必要がある。このままでは就業の安定を図ることが非常に難しい。
		職業安定所（職員）	・事業主都合による解雇者は減少しているが、ホテル等観光産業でSARSの影響を心配する声をよく聞く。
やや悪くなる	民間職業紹介機関（支 店長）	・半導体・エレクトロニクス業界の一部に、生産増強に関連して、プラス材料が見えている。	
	求人情報誌製作会社 （編集者） 新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・現場を回っていて人材採用に積極的な話を聞くことが少ない。 ・身近な問題より、SARSや北朝鮮情勢が景気に大きく影響している。例えば旅行代理店では、アルバイトや契約社員を解雇するところが出始めている。	
	悪くなる	-	-

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	一般小売店〔衣料・雑 貨〕（店長）	・観光客の増加に伴い、来客数の増加が見込める。
		その他専門店〔楽器〕 （経営者）	・SARS問題が終息に向かえば、沖縄観光の好調が期待できる。危険な海外よりは安全な国内、特に夏は沖縄でというリピーターも増えており、航空運賃も安くなっていることから、イラク戦争で控えた客の沖縄旅行への切替えに期待をしている。 ・沖縄観光ブームの再来が起きるような気がしており、観光客が増加すれば街に活気が出てくる。
	変わらない	百貨店（担当者）	・売れ筋の商品が出ていない状況であり、今後も特に変化はない。
		スーパー（経営者）	・去年から引き続き、この2、3か月もかなり厳しい状況にある。特に今年に入って大型店の出店、競合店の出店が相次ぎ、来客数にも影響が出ている。今後も競合店、あるいは大型店舗の出店等が予想されるので、景気の先行き不透明感は否めず、現在の状況が当分は続く。
		スーパー（企画担当）	・競合各社の新店舗の出店増加によりオーバーストア状態が続く、価格競争はますます激しくなり、客単価は上がらず、売上が伸び悩む状況がしばらく続く。
		衣料品専門店（経営 者）	・ゴールデンウィーク後の客の商品に対する反応が例年に比べて鈍い。しかし中には、安いから買うというよりも、少し高くても良い物を探す客も少数だが増えている。
		家電量販店（副店長）	・去年までのデータでは、例年、夏場は売上が伸びる傾向にあるのだが、今月の売上状況や客の流れからみると今後も厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（総務担 当）	・売れ筋の商品が出ていない状況であり、今後も特に変化はない。
		高級レストラン（副支 配人）	・各ホテルや旅行会社などではイベント等を計画しているようだが、現状として特に良い材料はみられないため、今後も変わらない状況が続く。
観光型ホテル（商品企 画担当）		・SARSの影響で、海外からの振り替え旅行などで一時的に沖縄に観光客が来ているが、最近では沖縄を地理的に心配する客からの声が多くなっており、不安要素がある。	
都市型ホテル（スタッ フ）	・SARSの影響や国内景気の先行き不透明感の強さなど、不安定要素が目立っており、また、個人消費もかなり落ち込んでいる。宿泊単価の低迷以上に料飲部門の落ち込みが激しく、この傾向はしばらく続く。		
観光名所（職員）	・SARSの影響による大幅な出控え現象がしばらく続き、今後も来客数の増加は望めない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（経営者）	・現在、SARSの影響で減少した旅行客を集客するため、航空会社、旅行会社が沖縄へのゴルフ旅行パックを増やす動きが一部にあるが、大きなインパクトは現状ではあまり期待できない。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅減税効果による受注もピークを過ぎ、今後、マイホーム建築を検討する世帯は限られてくる。
	やや悪くなる	一般小売店〔菓子〕（企画担当）	・職場の慰安旅行として予定されていた沖縄旅行が、SARSの懸念により取りやめたとの話が身近であったことから、SARSの影響は否定できない状況である。
		百貨店（総務担当）	・イラク情勢は落ち着いたものの、SARSがアジアを中心に猛威を振るっており、万が一日本に上陸すると多方面に悪影響を及ぼす恐れがある。
		コンビニ（経営者）	・学生アルバイトを採用しているが、かつてはアルバイトをする目的としては、小遣いや交際費稼ぎが主に聞かれたが、昨今は親元からの送金の減少などからつまり生活費のためにアルバイトをしたいとする学生が多くなっており、苦学生が増えている。
		コンビニ（エリア担当）	・アルバイトの定着率も高くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	・取引業者からの話でも、前年98%ぐらいで御の字という声をよく耳にする。なかばあきらめムードを感じる。
		旅行代理店（経営者） 住宅販売会社（経営者）	・スーパーマーケットの24時間営業店舗の増加や同業者間の競争が激化する。 ・SARSの影響で大幅な出控え現象がしばらく続く。 ・広告を出しても、営業力を強化しても、成約数は低い水準で推移しており、客の反響が弱いというのが現状である。 ・今度当社は分譲住宅から撤退するため、ますます当社の業況は厳しい。
	悪くなる	商店街（代表者）	・ここ数か月で、売上不振により商売を辞めた店舗が数箇所あり、その他の店舗についても日々売上が外周部の大型店等の出店により客割れ状態を起こしていることから、中心商店街は危機的状況にあり、今後も大変な状況におかれる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・酒税の改正やSARSによる不安感などへの対策として、極度の安売り合戦等厳しい営業が続いているが、もし、SARS患者が県内にも出た場合、3～6か月もの間、売上が激減することが危惧されることから患者が出ないのを祈るのみである。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（営業担当）	・SARS問題に左右される面もあるが、逆に追い風となれば良くなる。
		輸送業（総務担当）	・量、金額共にさほど期待はできないものの、依頼件数はある。
	変わらない	通信業（従業員）	・民間企業からの案件に関しては今後ますます厳しくなり、利益確保は困難な状態になることが危惧されるが、他方、最近では大学院大学に関する話題をメディアが取り上げる数が増えていることから、行政関連の依頼が増えるのではないかと期待される。しかし、結果的に業界全体としての景気は大きくは変わらない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・引き合い件数の減少と、1件当たりの打合せ期間の長期化傾向がみられる。
		不動産業（支店長）	・景気が良くなる材料がみあたらない。
悪くなる	-	-	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・新しい依頼が今までにないジャンル、職種の人材依頼などおもしろい動きも出てきており、そこに対する人材提供ができれば仕事の幅も広がっていくのではないかと感じている。しばらくは派遣依頼増加の要素がみられるので今後も少しは良くなる。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数自体は微増の傾向にあるが、企業が求める条件等は厳しく、また、求めるレベルを下げてまでは採用しないと企業の姿勢がみられる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当）	・先行きが不透明なため、今後の景気については予測が難しい。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・今月後半から求人確保できた会社が増えているものの、今後も厳しい状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求職者は5,802人で前年度に次いで1.9%増となり、増加の要因としてはパート求職者が8.9%、中高齢者の求職者が3.7%とそれぞれ増加したことが挙げられる。 ・新規常用求職者4,695人の離職理由の主な構成比をみると、自己都合辞職者が1,969人、事業主都合離職者が1,944人となり、前年同月との比較すると自己都合離職者が4.7%、事業主都合離職者が15.6%とそれぞれ増加している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数は若干増加しているものの、企業側の採用動向が前倒し傾向にあるため、今後新規の求人が増加しない限り雇用状況は好転しない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-